

第5回 神代川河川再生計画検討委員会

日時 平成26年11月4日(火)

場所 西臼杵支庁大会議室

議事次第

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 開会 | 13:30~ |
| 2. 挨拶 | |
| 3. 議事 | |
| 1) これまでの経緯について | 13:40~13:50 (10分) |
| 2) 検討委員会及びワーキング検討会で出された課題対応状況 | 13:50~14:00 (10分) |
| 3) ワークショップにおける検討状況について | 14:00~14:30 (30分) |
| (意見交換) | 14:30~15:10 (40分) |
| 4) 天真名井(地下水・水質等)調査について | 15:10~15:40 (30分) |
| (意見交換) | 15:40~16:20 (40分) |
| 4. その他 | 16:20~16:30 (10分) |

委員会終了後シンポジウム開催(場所:高千穂町自然休養村管理センター メインホール)

18:00~18:50 基調講演

神戸女子大学 非常勤講師 李 春子氏

東アジアの「水」を巡る「伝統の森」の文化資料化

19:00~20:00 パネルディスカッション

第 5 回 神代川河川再生検討委員会

資 料

- 1 : これまでの経緯について
- 2 : 検討委員会及びワーキング検討会で出された課題対応状況（昨年度より）
- 3 : WS における検討状況について（中間報告）
- 4 : 天真名井（地下水・水質等調査）について

1. これまでの経緯について

○神代川かわまちづくりの経緯

検討会名	実施日	概要
第1回神代川河川再生計画検討委員会	平成23年11月22日	・河川再生計画の検討概要 ・これまでの河川再生に向けた行動 ・神代川周辺の歴史・景観資源の確認 ・現地視察
第2回神代川河川再生計画検討委員会	平成24年3月9日	・第1回ワークショップ開催報告 ・小学校アンケート実施報告 ・重点課題抽出と再生目標(案)の検討 ・河川再生メニュー(案)の検討
第1回神代川河川再生計画検討会 (ワキンググループ)	平成24年12月13、14日	・ワークショップ結果の報告 ・高千穂の歴史と神代川との関わりについて講話 ・高千穂町のまちづくりの報告
第3回神代川河川再生計画検討委員会	平成25年7月11日	・第2回委員会及び計画検討会の課題対応 ・ワークショップ結果の報告
第2回神代川河川再生計画検討会 (ワキンググループ)	平成25年7月12日	・かわまちづくり計画について
第4回神代川河川再生計画検討委員会	平成25年12月20日	・かわまちづくり計画について ・これまでの課題対応状況

○本年度の実施状況

- 第1回 神代川かわまちづくり推進協議会(仮称) : 平成26年5月8日実施
 - 神代川かわまちづくり推進協議会の立ち上げ
 - 神代川かわまちづくり計画等の説明
 - 他地区での事例紹介(桑子先生)
- 第2回 神代川かわまちづくり推進協議会(第1回ワークショップ) : 平成26年7月24日実施
 - 神代川かわまちづくり計画全体イメージの理解
 - WS名称の決定「神代川かわまちづくり八百万の会」
- 第3回 神代川かわまちづくり八百万の会(第2回ワークショップ) : 平成26年9月26日実施
 - 大まかな河川形状や遊歩道等の整備方針について考える
 - 島谷先生による模型作成の指導
- 第4回 神代川かわまちづくり八百万の会(第3回ワークショップ) : 平成26年10月9日実施
 - 班別協議結果のすり合わせ
 - 細部のデザインについて考える
 - WSにおける班別の中間取りまとめ

○本日の予定

■13:30~16:30

第1回神代川河川再生計画検討委員会

- WSにおける検討結果(中間)の確認
- WSにおける今後の検討内容について
- 地質調査結果・水源の確保について
- 今後に向けた方向性の確認

■18:00~18:50(50分程度)

神戸女子大学 非常勤講師 李 春子先生

仮題:「東アジアの「水」を巡る「伝統の森」の文化の資料化」

■19:00~20:00(60分程度)

パネルディスカッション

(杉尾先生、桑子先生、島谷先生、土井先生、山口課長、後藤宮司)

○今後の予定

- 第5回 神代川かわまちづくり八百万の会(第4回ワークショップ) : 平成26年11月中予定
 - 検討委員会の結果を受けた対応
 - 維持管理・利用推進に関わる検討
- 第6回 神代川かわまちづくり八百万の会(第5回ワークショップ) : 平成26年11月末予定
 - WSにおける検討結果の最終とりまとめ
 - 今後に向けた方向性の確認
- 第2回 神代川河川再生計画検討委員会 : 平成26年12月末予定
 - WSにおける検討結果の確認
 - 地質調査結果・水源の確保について
 - 今後に向けた方向性の確認

神代川かわまちづくり推進協議会(仮称) 設立式

日時 平成26年5月8日(木) 13:00~15:30

場所 宮崎県西臼杵支庁大会議室

議事次第

- | | | |
|---|-------------------------|-------------------|
| 1 | 開会 (森土木課長) | 13:00 開会 |
| 2 | 開会挨拶 (杉尾先生、上田次長) | 13:01~13:07 |
| 3 | 自己紹介 (出席者全員) | 13:07~13:30 |
| 4 | かわまちづくり計画等の説明 | |
| ① | 経緯及び協議会設立趣旨説明(県)・・・資料1 | 13:30~13:40 (10分) |
| ② | かわまちづくり計画について(県、町)・・・別冊 | 13:40~14:10 (30分) |
| ③ | 本年度のスケジュールについて(県)・・・資料2 | 14:10~14:20 (10分) |
| | (休憩) | 14:20~14:30 (10分) |
| ④ | 他地区での事例紹介(桑子先生) | 14:30~15:00 (30分) |
| 5 | その他 (意見交換等) | 15:00~15:30 (30分) |
| 6 | 閉会 (森土木課長) | 15:30 閉会 |

神代川かわまちづくり推進協議会(仮称) 委員名簿

(敬称略)

番号	所属・役職	氏名	備考
1	高千穂神社	新名 秀基	
2	荒立神社 宮司	興梠 武重	
3	高千穂町観光協会	火宮 和俊	
4	高千穂町観光協会	佐藤 康子	
5	高千穂町商工会 事務局	松尾 賢一郎	
6	神代川清流復活改修事業促進協議会 会長	谷川 秀憲	
7	本組公民館 館長	吉田 守男	計画委員
8	町区公民館 館長	興梠 高良	計画委員
9	本組公民館 副館長	甲斐 勝朗	計画委員
10	本組公民館 女性部長	興梠 初美	計画委員
11	町区公民館 女性部長	喜田 鏡子	計画委員
12	荒立神社 降神会 会長	興梠 安德	
13	高千穂中学校臨時職員	沖崎 円香	
14	地域おこし協力隊	小池 芙美	
15	高千穂町 建設課長	佐藤 雄二	計画委員
16	高千穂町 企画観光課長	石淵 教司	計画委員
17	高千穂町 教育委員会 次長	内倉 文博	計画委員
18	高千穂町 福祉保険課長	山下 正弘	
19	高千穂町 議会事務局	細川 加南	
20	高千穂町 企画観光課	陳内 葉摘弥	
21	宮崎県西臼杵支庁 土木課	若松 なぎさ	

神代川かわまちづくり推進協議会(仮称) オブザーバー名簿

(敬称略)

番号	所属・役職	氏名	備考
1	宮崎大学名誉教授	杉尾 哲	計画委員
2	東京工業大学大学院 教授	桑子 敏雄	計画委員
3	九州大学工学研究院 教授	島谷 幸宏	計画委員
4	NPO法人「五ヶ瀬川流域ネットワーク」理事長	土井 裕子	計画委員
5	高千穂神社 宮司	後藤 俊彦	
6	樹医(ひむか造園土木)	佐藤 光	
7	宮崎県県土整備部 河川課長	大谷 睦彦	計画委員
8	宮崎県県土整備部 都市計画課長	瀬戸長 秀美	
9	宮崎県西臼杵支庁 土木次長	上田 秀一	計画委員

「神代川かわまちづくり推進協議会（仮称）」設立趣旨

（背景）

神代川は、天孫降臨の際に水のなかった国土に「水の種」がもたらされたとの神話が残る天真名井をはじめ、神話ゆかりの史跡が周辺に多くあります。一方で、昭和40年代の水害を契機に河川改修を行った結果、古くからの環境・景観が失われ、人びとの生活と川との緊密な関係が希薄になりつつあります。

このような中、川本来の環境と景観を再生し、人びとが川とともに生きる喜びを取り戻し、日本文化の原風景の体感を共有できるようにするため、「神代川河川再生計画検討委員会」が平成23年11月に設立され、「神代川かわまちづくり計画書」が平成26年1月に策定されています。

その中で、「天真名井周辺・神々のゾーン」、「皇子橋周辺・水辺いこいのゾーン」及び「神話・歴史・文化の周遊ゾーン」が設定され、今後は全体の詳細な計画を立案し、実施に反映していく段階となっています。

（課題）

このためには、河川管理者である宮崎県とまちづくりの主体である高千穂町や地域関係者をはじめとする、各主体が相互に連携して、整備内容や手法及び管理運営方法も含めた実現化方策をより具体的に議論し、それぞれの役割分担と協働のもとで、利活用や維持管理を実践することが必要となっています。

（検討の目的）

「神代川かわまちづくり推進協議会（仮称）」は、「神代川河川再生計画検討委員会」の実践組織として、利用者、地域住民、市民活動団体、地域自治体、河川管理者等が集結し、神代川の河川空間を活かした「神代川かわまちづくり計画」に基づき、具体的な実施内容について協議・調整し、評価・見直しを行うことにより、日本の歴史・文化的環境・景観の再生を目指すかわまちづくりのさきがけとして、継続的に地域活性化に貢献することを目的としています。

平成26年5月 日
神代川かわまちづくり推進協議会（仮称）

神代川かわまちづくり推進協議会（仮称） 設置要綱（案）

（目的）

第1条 神代川かわまちづくり計画を推進する上で、幅広い見地から意見を聴取し実施に反映するために、神代川かわまちづくり推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（検討事項）

第2条 協議会は、次の事項について検討を行う。

- （1）神代川のかわづくりに係る具体的な実施内容について
- （2）神代川を含む周辺地域のまちづくりに係る具体的な実施内容について
- （3）河川を含む周辺施設整備後の利活用・維持管理について

（構成）

第3条 協議会は、別表1に掲げる委員及びオブザーバーをもって構成する。

（任期）

第4条 協議会委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

（協議会）

第5条 協議会は、神代川河川再生計画検討委員会の実践組織として活動を行い、必要に応じて部会を設立するとともに、部会には部会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 部会長は、それぞれの会務を総括する。
- 3 部会長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、部会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。
- 4 部会は、部会長が招集する。
- 5 部会長が必要と認める場合は、委員以外の者を協議会に出席させることができる。

（事務局）

第6条 協議会の事務局は、宮崎県西臼杵支庁土木課、高千穂町建設課並びに高千穂町企画観光課に置く。

（その他）

第7条 本要綱に定めるものの他、協議会の運営に必要な事項は、神代川河川再生計画検討委員会委員長が定める。

（附 則）

この要綱は、平成26年5月 日 から施行する。

平成25年度「かわまちづくり」計画への登録について

神代川かわまちづくり計画は、3月26日に国土交通省の「かわまちづくり」計画に登録されました。
また、同日には、国土交通省九州地方整備局から、神代川かわまちづくりの概要が公表されました。

第1回検討委員会(H23. 11. 22)

- ・神代川の現状把握
- ・河川再生に向けた意見交換

第2回検討委員会(H24. 3. 9)

- ・天真名井の湧水・水質について
- ・河川再生メニューについて検討

第3回検討委員会(H25. 7. 11)

- ・河道計画について
- ・地下水の水質について
- ・神代川に最適な石積護岸について

第4回検討委員会(H25. 12. 20)

- ・かわまちづくり計画書について
- ・天真名井の水質・水量調査について
- ・まちづくりについて

「かわまちづくり計画書」引継ぎ、申請
(H26. 1. 27)
・高千穂町へ「かわまちづくり計画書」へ引継ぎを行い、同日国土交通省の「かわまちづくり支援制度」に申請

「かわまちづくり」計画への登録
(H26. 3. 26)

- ・国土交通省から高千穂町長宛てに登録通知が送付される
- ・神代川かわまちづくりの概要が公表される



H26.1/27 引継ぎの様子(高千穂町長室)



H26.1/29 夕刊デイリー記事



国水環第144号

平成26年3月26日

高千穂町長 殿

国土交通省

水管理・国土保全局長



「かわまちづくり」計画の登録について

平成26年1月27日付け高建発第428号「かわまちづくり」計画の登録について(申請)により申請のあった神代川における「かわまちづくり」計画について登録しましたので、通知します。

「日本発祥の地」神都 高千穂
じんがいのわ
 神代川かわまちづくり
 ～川と日本人の心の再生を目指して～(高千穂町)

市町村名：宮崎県 高千穂町
 対象河川：五ヶ瀬川水系 神代川

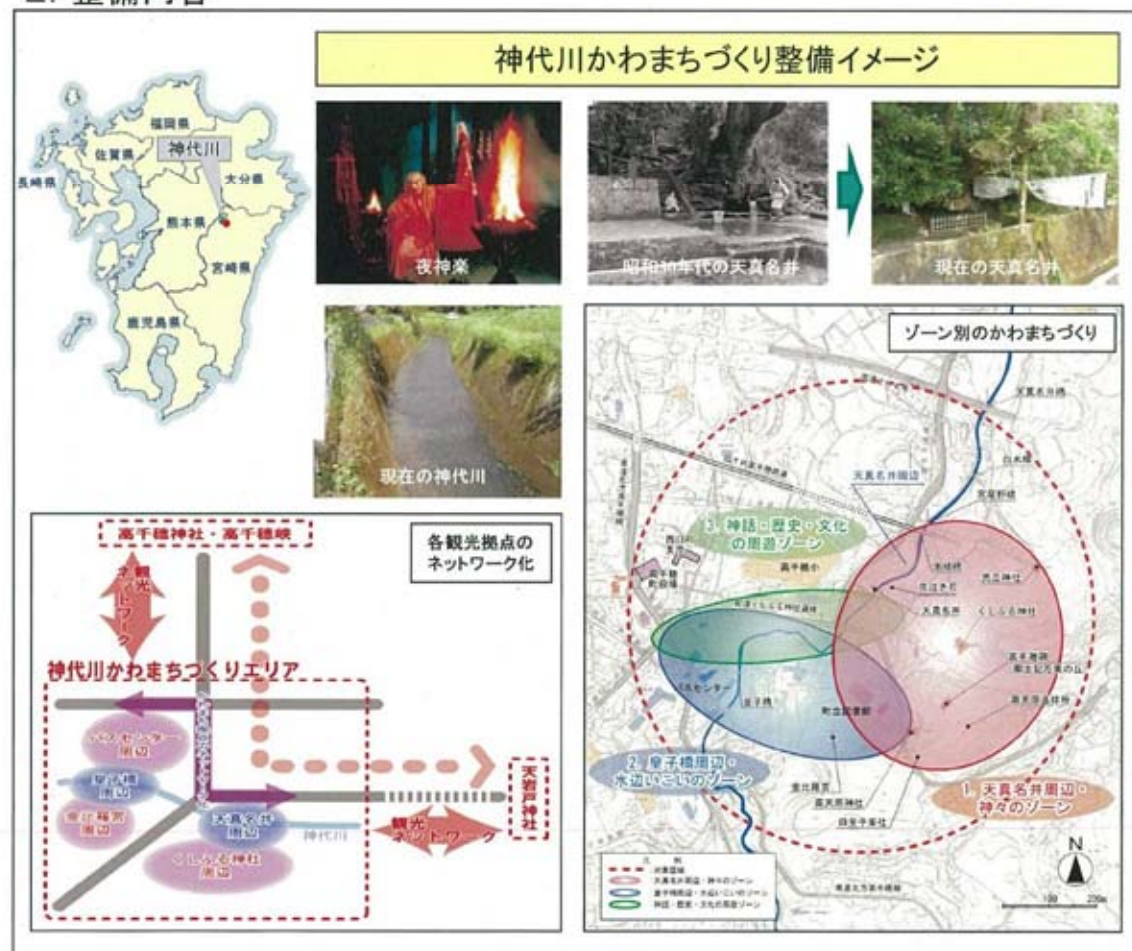
1. 概要

宮崎県高千穂町は、高天原神話と天孫降臨神話の舞台として、日本文化の根源に位置していることから、日本発祥の地「神都 高千穂」を目指して、観光を含めた地域活性化事業に取り組んでいる。なかでも町の中心を流れる神代川がくしふるの峰の麓にさしかかるところに位置する天真名井は、水のなかった国土にニニギノミコトが天から「水の種」をもたらしたことで湧いた泉であるとの伝承が残っている。

このような中、神代川では昭和40年代の河川改修を機に、古代を彷彿とさせる環境・景観は失われ、人々の生活と神代川との緊密な関係は希薄になっている。

このため、地域住民と宮崎県、高千穂町との緊密な連携のもと、川とともに生きることの喜びを取り戻し、またこの地域を訪れる人びとに日本文化の原風景の体験を共有できるように神代川本来の姿への再生や神話史跡コースの整備等、川とまちが一体となった取組を行うとともに、観光振興への寄与を図る。

2. 整備内容



かわまちづくり支援制度

～良好なまち空間と水辺空間の形成～

観光などの活性化に繋がる景観・歴史・文化等の河川が有する地域の魅力という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携の下で立案された、実現性の高い河川や水辺の整備・利活用計画による、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ります。

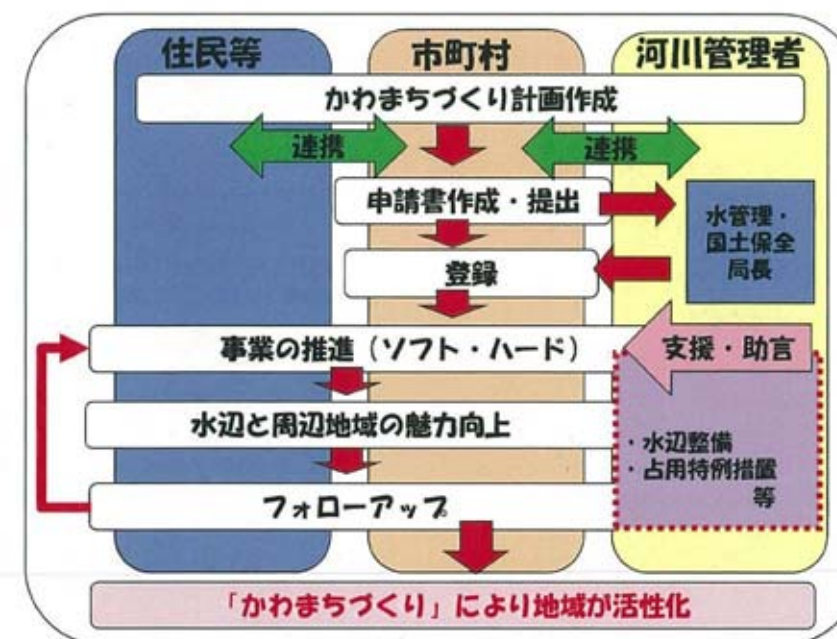
○事業概要

ソフト支援：民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度（都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例）等を活用、河川管理者として「地域づくりのためのフォローアップ」を積極的に支援。

ハード支援：治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。



管理用道路をフットパスとして活用（最上川）



図：かわまちづくりの流れ

2. 検討委員会及びワーキング検討会が出された課題対応状況（昨年度より）

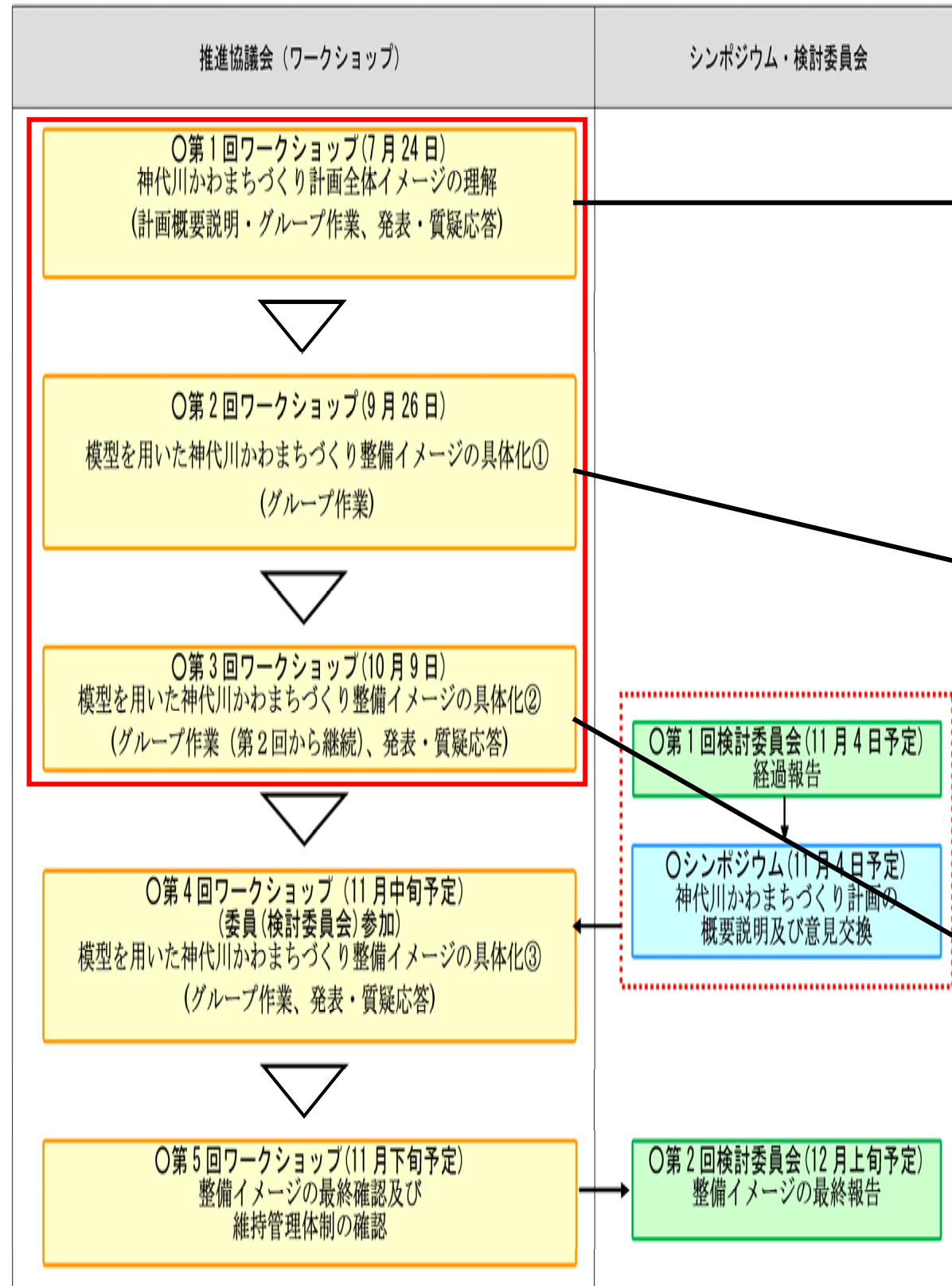
第4回検討会（開催日：平成25年12月19日・20日） 検討対応状況一覧表 - ①

No.	分類	検討項目	検討内容	対応状況
①	かわまちづくり 計画書関連	表紙	・サブタイトルの追加 （例：～川と日本人の心の再生を目指して～） ・雲海、神楽、神事等の写真の追加	個別の検討内容について対応を行い、「神代川かわまちづくり計画書」に反映 ↓ H26.1.27 高千穂町へ「神代川かわまちづくり計画書」の引き継ぎを行い、同日国土交通省の「かわまちづくり支援制度」に申請 ↓ H26.3.26 国土交通省から高千穂町長宛に登録通知が送付され、神代川かわまちづくり計画書の概要が公表 ↓ H26.5.8 神代川かわまちづくり推進協議会(仮称)を設立
②		序文	文章の柔和化と、水循環や水の種といったキーワードや、記紀編さん1300年記念事業との関連性の追加	
③		第1章 高千穂町の概要	（記紀編さん1300年記念事業） 宮崎県全体での取り組みを追加	
④		第2章 神代川の概要	（歴史・文化環境） 天真名井を大きく取り上げ、神事の写真を追加	
⑤			（現状の河川維持管理） ・皇子橋周辺の維持管理実施状況を追加	
⑥		第3章 かわまちづくり計画	（対象区域） 「かわづくり」と「まちづくり」で分けず、一体的な区域設定とする	
⑦			（基本理念） 神話にとらわれず、わかりやすい名称とする	
⑧			（基本理念） 基本理念の流れを「ハード整備」→「ソフト施策」といった一方的なものにせず、トライアングルのような形で循環性を持たせる	
⑨			（ゾーニング） ゾーン名称を固有名称ではなく、理念を表現したものにする	
⑩			（天真名井周辺） ・水辺に近づける工夫をする ・天真名井の御神木へのしめ縄追加と、人物描画の修正 ・整備コメントへの「水の種」や「水循環」といったキーワードの反映	
⑪			（くしふる神社周辺） ・パワースポットを巡るようなイメージにできないか ・トイレ整備の参考写真を、神代川のイメージにふさわしいものに変更する	
⑫			（皇子橋周辺） ・天真名井同様に階段を設けるなどして、人と水が近づけるようなイメージ図とする	
⑬			（バスセンター周辺） ・まちとの一体感や、他の整備箇所とのネットワークのイメージが弱い	
⑭			（追加：維持管理方針） ・維持管理方針の追加 ・河川清掃に対する知事表彰を追加	
⑮			（取り組み主体） ・橋梁架け替えの取り組み主体を河川管理者とする	

第4回検討会（開催日：平成25年12月19日・20日） 検討対応状況一覧表 - ②

No.	分類	検討項目	検討内容	対応状況
⑩	河道計画（護岸・植生）について	護岸計画	<ul style="list-style-type: none"> 石積みは自然石、深目地とし、表面を合わせて粗度を考慮する パラペット撤去を行った際の天真名井の護岸計画について、フォトモンタージュを作成 	<ul style="list-style-type: none"> WSで検討 護岸パターンを数案提示し、完成後のイメージを検討 粗度係数は、現況 n=0.020、整備後は n=0.0300~0.035 程度を想定 天真名井付近について簡易的なフォトモンタージュを作成
⑪		植栽計画	<ul style="list-style-type: none"> 天真名井周辺については、ケヤキをメインとした植栽が望ましい 	<ul style="list-style-type: none"> WSで検討 模型をもとに、樹木配置等を検討 ケヤキを中心としながら部分的に桜等の花木も希望されている
⑫	天真名井前での神事について	神事に必要なスペースの確認	<ul style="list-style-type: none"> 天真名井前で行われる神事について、必要なスペースの確認（委員会では、現状より1mは縮小可能とのこと） 	<ul style="list-style-type: none"> WSで検討 神事については、ある程度狭いスペースでも可能 神事であるため、基本的には天真名井前で行う 具体的な広さや、神事場所を移動させる等については、宮司への確認が必要とのこと
⑬	駐車場について	まちなか駐車場	<ul style="list-style-type: none"> 観光の面からは、バスセンター周辺を観光拠点とした際にどのように駐車場確保するかが課題である 	<ul style="list-style-type: none"> WSで検討 利便性から各拠点個別に駐車場配置を望む声もあったが、検討により「まちなかを歩いてもらう」視点から駐車場のありかたについて再度検討
⑭	検討の進め方について	模型の作成	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、天真名井周辺の計画についての簡易的な模型を作成する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> 天真名井に加え、皇子橋についても1/100模型を作成し、WSでの検討に利用 その他1/1000地形模型を作成し、かわまちづくり計画の全体の地形状況を確認
⑮	天真名井（地下水・水質等調査）について	水量の確保	<ul style="list-style-type: none"> 渇水期における天真名井水量確保についての調査 	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年2月に24時間連続揚水試験を実施 No.1は12L/min採水可能であるが細かい砂を伴うため水質上の問題あり No.2は25L/min採水可能、揚水から10分で水位安定、水位低下量も小さく、水質も良好（飲用適正あり）
⑯		浸透柵の設置について	<ul style="list-style-type: none"> 浸透柵を設置する際の有効的な個所の検討（ボーリング調査等） 	<ul style="list-style-type: none"> 地下水の基盤となる溶結凝灰岩の谷構造や水ミチを探るべく、電気探査とボーリング調査を実施、さらにボーリング孔を用いて水位観測、多点温度検層、流向流速測定を実施 天真名井に通じる明確な地下水流は確認できない、動水勾配わずか1% 河川付近の地下水浸透（漏水）が予想以上に深刻 湧水復活を目的とした浸透柵設置は極めて困難（地下水涵養量増・洪水対策としては効果あり） 今後水質分析による地下水区分、トレーサーによる地下水流確認を予定

3 : WS における検討状況について (中間報告)



第1回ワークショップの流れ

次第	内容	所要時間
1. ワークショップの進め方	①ワークショップ全体の流れについて ②第1回ワークショップの内容について	19:00~19:10 (10分)
2. 神代川かわまちづくり計画について	①神代川かわまちづくり計画の目的 ②神代川かわまちづくり計画 (対象区域、整備方針等) ③グループ作業内容の説明 ⇒グループ作業の着眼点等を説明する。	19:10~19:20 (10分)
3. グループ作業	【グループ作業】 ⇒4班程度に分かれて、各班毎に議論 2班: 共通「神代川かわまちづくり計画」 各班「天真名井周辺・神々のゾーン」 or 「皇子橋周辺・水辺いこいのゾーン」 2班: 共通「神代川かわまちづくり計画」 各班「天真名井周辺整備」 or 「皇子橋周辺整備」	19:20~20:10 (50分) ①メンバー確認: 5分 ②代表者決定: 5分 ③グループ作業: 30分 ④とりまとめ: 10分
4. 発表・質疑応答	【グループ発表】 ⇒各班の代表者が発表し、それに対して質疑応答を行う。	20:10~20:50 (40分) 1班あたり 発表 5分 質疑応答 5分
5. まとめ・次回ワークショップについて	①全体整備イメージについて。 ②協議会の名称について ③第2回ワークショップについて	20:50~21:00 (10分)

第2回ワークショップの流れ

次第	内容	所要時間				
1. ワークショップの進め方	①ワークショップ全体の流れについて ②第1回ワークショップの結果について ③第2回ワークショップの内容について	19:00~19:20 (20分)				
2. グループ作業内容について	①島谷先生からのアドバイス	19:20~19:35 (15分)				
3. グループ作業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>天真名井・皇子橋周辺</th> <th>くしふる周辺・バスセンター周辺</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①他のゾーンとの連続性 ②川の流れ ③川幅 ④管理用通路</td> <td>①他のゾーンとの連続性 ②ルート上に他の拠点施設 ③ルート設定 ④ルート整備</td> </tr> </tbody> </table>	天真名井・皇子橋周辺	くしふる周辺・バスセンター周辺	①他のゾーンとの連続性 ②川の流れ ③川幅 ④管理用通路	①他のゾーンとの連続性 ②ルート上に他の拠点施設 ③ルート設定 ④ルート整備	19:35~20:45 (70分) 1.メンバー確認: 5分 2.代表者決定: 5分 3.グループ作業: 60分
天真名井・皇子橋周辺	くしふる周辺・バスセンター周辺					
①他のゾーンとの連続性 ②川の流れ ③川幅 ④管理用通路	①他のゾーンとの連続性 ②ルート上に他の拠点施設 ③ルート設定 ④ルート整備					
4. まとめ・次回ワークショップについて	①第3回ワークショップについて	20:45~21:00 (15分)				

第3回ワークショップの流れ









次第	内容	所要時間						
1. 挨拶・はじめに	・挨拶 ・ワークショップ全体の流れについて	19:00~19:10 (10分)						
2. グループ作業内容について	・第2回ワークショップの結果について ・第3回ワークショップの内容について ・班分け変更説明 (3・4班は合同) ・第2・3回ワークショップの結果とりまとめについて	19:10~19:30 (20分)						
3. グループ作業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>天真名井</th> <th>皇子橋周辺</th> <th>くしふる周辺 バスセンター周辺</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①ルート設定 ・河川形状、川幅 ②施設配置 ・管理用通路、川に降りる場所、広場、休憩施設 ③施設デザイン、規模等 ・護岸形状、管理用通路の幅員、広場の規模、休憩施設のデザイン ④その他 ・</td> <td>①ルート設定 ・観光施設周遊ルート、観光客の導線 ②施設配置 ・駐車場、行先案内板、施設説明板、休憩施設 ③施設デザイン、規模等 ・駐車場の規模、周遊ルートの舗装・手すり等、町道の車道・歩道等、案内板 ④その他 ・</td> <td>①ルート設定 ・観光施設周遊ルート、観光客の導線 ②施設配置 ・駐車場、行先案内板、施設説明板、休憩施設 ③施設デザイン、規模等 ・駐車場の規模、周遊ルートの舗装・手すり等、町道の車道・歩道等、案内板 ④その他 ・</td> </tr> </tbody> </table>	天真名井	皇子橋周辺	くしふる周辺 バスセンター周辺	①ルート設定 ・河川形状、川幅 ②施設配置 ・管理用通路、川に降りる場所、広場、休憩施設 ③施設デザイン、規模等 ・護岸形状、管理用通路の幅員、広場の規模、休憩施設のデザイン ④その他 ・	①ルート設定 ・観光施設周遊ルート、観光客の導線 ②施設配置 ・駐車場、行先案内板、施設説明板、休憩施設 ③施設デザイン、規模等 ・駐車場の規模、周遊ルートの舗装・手すり等、町道の車道・歩道等、案内板 ④その他 ・	①ルート設定 ・観光施設周遊ルート、観光客の導線 ②施設配置 ・駐車場、行先案内板、施設説明板、休憩施設 ③施設デザイン、規模等 ・駐車場の規模、周遊ルートの舗装・手すり等、町道の車道・歩道等、案内板 ④その他 ・	19:30~20:30 (60分)
天真名井	皇子橋周辺	くしふる周辺 バスセンター周辺						
①ルート設定 ・河川形状、川幅 ②施設配置 ・管理用通路、川に降りる場所、広場、休憩施設 ③施設デザイン、規模等 ・護岸形状、管理用通路の幅員、広場の規模、休憩施設のデザイン ④その他 ・	①ルート設定 ・観光施設周遊ルート、観光客の導線 ②施設配置 ・駐車場、行先案内板、施設説明板、休憩施設 ③施設デザイン、規模等 ・駐車場の規模、周遊ルートの舗装・手すり等、町道の車道・歩道等、案内板 ④その他 ・	①ルート設定 ・観光施設周遊ルート、観光客の導線 ②施設配置 ・駐車場、行先案内板、施設説明板、休憩施設 ③施設デザイン、規模等 ・駐車場の規模、周遊ルートの舗装・手すり等、町道の車道・歩道等、案内板 ④その他 ・						
	・検討結果とりまとめ	20:30~20:40 (10分)						
4. 班別発表	・各班から取りまとめ結果を報告	20:40~20:55 (15分)						
5. 次回以降の予定について	・シンポジウム・委員会次回 WS の開催連絡	20:55~21:00 (5分)						

第1回神代川ワークショップ開催報告

●参加者：42名(委員19名、地元住民17名、事務局6名)

●場所：西臼杵支庁 大会議室

●日時：平成26年7月24日(木)











プログラム	内容	開催風景	
<p>① ワークショップの進め方 19:00~19:10</p>	<p>○今年度ワークショップ全体の流れ及び第1回ワークショップの内容について説明</p>	<p>■事務局説明時の様子</p>  	
<p>② 神代川かわまちづくり計画について 19:10~19:20</p>	<p>○神代川かわまちづくり計画の目的及び内容について、計画書及び概要版を用いて、神代川かわまちづくり計画の説明</p>	<p>■グループ作業の様子</p>  	
<p>③ グループ作業 19:20~20:10</p>	<p>○4班に分かれて「計画の全体イメージ」と「班毎のテーマ」について意見交換・整理 【各班のテーマ】 1班：天真名井周辺整備 2班：皇子橋周辺整備 3班：天真名井周辺・神々のゾーン 4班：皇子橋周辺・水辺いこいのゾーン</p>	 	
<p>④ 発表・意見交換 20:10~20:50</p>	<p>○各班毎にグループ作業で出した意見を発表し、意見交換</p>	 	
<p>⑤ その他 20:50~21:00</p>	<p>○神代川かわまちづくり推進協議会のネーミングを決定 ○次回ワークショップの開催時期及び内容について説明</p>	 	

第2回神代川ワークショップ開催報告（神代川かわまちづくり八百万神の会）

●参加者：30名（委員14名、地元住民9名、オブザーバー1名、事務局6名）

●場所：西臼杵支庁 大会議室

●日時：平成26年9月26日（金）


プログラム	内容	開催風景	
<p>① ワークショップの進め方 19:00～19:20</p>	<p>○前回WSにおける検討結果の概要、ワークショップ全体の流れについて説明</p>	<p>■事務局説明時の様子</p> 	<p>■島谷先生からのアドバイス</p> 
<p>② グループ作業内容について 19:20～19:35</p>	<p>○今回のグループ作業内容について説明 ○島谷先生からWSにおける検討の進め方についてアドバイス</p>	<p>■グループ作業の様子</p> 	
<p>③ グループ作業 19:35～20:30</p>	<p>○4班に分かれて個別の検討事項を記した資料や模型、図等をもとに具体的な整備内容について意見交換・整理（前半） 【各班のテーマ】 1班：天真名井周辺整備 2班：皇子橋周辺整備 3班：天真名井周辺・神々のゾーン 4班：皇子橋周辺・水辺いこいのゾーン</p>		
<p>④ まとめ 20:30～20:50</p>	<p>○班毎に他ゾーンとの連携のあり方や、個別ゾーンの整備の考え方について発表・意見交換</p>		
<p>⑤ 次回ワークショップについて 20:50～21:00</p>	<p>○次回ワークショップの開催時期及び内容について説明</p>	<p>■発表・意見交換の様子</p> 	

第3回神代川ワークショップ開催報告（神代川かわまちづくり八百万神の会）

●参加者：31名（委員16名、地元住民8名、事務局7名）

●場所：西臼杵支庁 大会議室

●日時：平成26年10月9日（木）

プログラム	内容	開催風景
<p>① 挨拶・はじめに 19:00～19:10</p>	<p>○ワークショップ全体の流れについて説明</p>	<p>■事務局説明時の様子</p>  
<p>② グループ作業内容について 19:10～19:30</p>	<p>○前回WSにおける検討結果の概要の説明 ○今回WS内容について説明</p>	<p>■グループ作業の様子</p>  
<p>③ グループ作業 19:30～20:30</p>	<p>○4班に分かれて個別の検討事項を記した資料や模型、図等をもとに具体的な整備内容について意見交換・整理（後半・とりまとめ） 【各班のテーマ】 1班：天真名井周辺整備 2班：皇子橋周辺整備 3班：天真名井周辺・神々のゾーン 4班：皇子橋周辺・水辺いこいのゾーン</p>	 
<p>④ 班別発表 20:40～20:55</p>	<p>○班毎に前回WS検討結果とあわせ、全体の整備の考え方について発表・意見交換</p>	 
<p>⑤ 次回以降の予定について 20:55～21:00</p>	<p>○次回ワークショップの開催時期及び内容について説明 ○11/4開催予定の委員会、シンポジウムについて開催案内</p>	<p>■発表・意見交換の様子</p>  

■第1回WSの検討結果

第1回ワークショップ 意見・検討内容一覧表

No.	分類	項目	第1回WSの意見	検討内容
①	整備計画全体	維持管理・利活用	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の維持管理体制に関して不安がある。(どこまで地元で対応するのか)(1班) ・本事業を通じて、神代川が変化していく様子を子供たちの勉強にも生かせるとよい。(2班) 	<ul style="list-style-type: none"> ①学校教育での河川整備や散策ルートの利活用検討 ②地元住民を含めた維持管理体制の検討
②	河川整備	水質・水生生物	<ul style="list-style-type: none"> ・昔生息していた魚、ホタルが戻ってくる川にしたい。(1班・3班) ・昔はメダカ等がいて子供たちも川で遊んでいたが、現在はそのような場面が見られなくなった。(2班) ・下水道整備により7・8年前から一部でホタル等が生息するようになってきた。(2班) ・生き物が多くいる自然の川にしたい。 	①整備後の水生生物復活の可能性についての検討
③		河川水	<ul style="list-style-type: none"> ・昔は水があふれていたが、現在は数cmの川となっている。(4班) ・生物が生息できるように1年中ある程度の水量が必要(1班) ⇒水量が一定量確保できなくても生物が生息できる整備 ⇒水量が確保できる体制(用水の利用) ・渇水時は岩戸地区からの用水等を利用して神代川の水量を確保できないか。(3班・4班) ・水源の確保ができるか。(3班) 	<ul style="list-style-type: none"> ①他地区の水脈からの引き込みの検討 ②河川水の回復の検討
④		整備区間	<ul style="list-style-type: none"> ・下流(整備区間)と上流(未整備区間)において景観的なギャップが大きい。(1班) ⇒宮野尾橋から河川上流側を見た際に殺風景な風景が残る。 	①整備区間の前後について、どこまでを整備区間とするかの検討
⑤		管理用道路	<ul style="list-style-type: none"> ・川沿いを散策できるようにしたい。(4班) ・川を回遊(一周)できる散策路を整備したい。 ・現在計画されている散策路に加え、神代川(天真名井付近から皇子橋付近)に沿って歩ける散策路を整備したい。 	①天真名井から皇子橋付近へ、川沿いを歩けるような管理用道路の設置検討
⑥		河道計画	<ul style="list-style-type: none"> ・三面張り水路で、自然な川という感じがしない。(1班) ・川に藻などが繁茂しているため子供が遊ぶには危険。(4班) ・生活上安全な川でなければならない。(1班) ・子供・老人・観光客など多くの人に親しまれるような整備を進めてもらいたい。(川・空き地を利用した公園化)(2班) ・定期的なイベント(朝市等)ができる広場など地元の人も集まるような整備。(2班) ・災害対策・増水時はどうするのか。(3班) ・昔の状態そのままへ再生することは難しいが、子供たちが水と親しめる場所にしたい。(4班) ・大木等シンボルになるものは残していきたい。(4班) ・河川改修前のイメージに戻したい。 ・湿原があって、魚とり・虫とりができるような場所にしたい。(休憩施設等も設置したい。) 	<ul style="list-style-type: none"> ①新たな河道計画の検討 ②計画した河道の治水面の安全性検討 ③人が集まり、川と触れ合える空間整備検討 ⇒公園化・川に降りる階段設置等
⑦		誘導案内	<ul style="list-style-type: none"> ・道が分かりづらいため案内板だけで十分なのか。(3班) 	①案内板とは別の散策路案内の検討
⑧	散策ルート整備	遊歩道整備	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間は散策路の中に暗くなる箇所もあるため、対策が必要。(3班) ・道を楽しく歩ける歩道整備をし、観光客がたくさん足を運んでくれる街にしたい。(3班・4班) ・用途・時間に合わせて利用できる散策路を整備できないか。 ・観光客の方にレンタサイクルをさらに活用してもらいたい。(4班) 	<ul style="list-style-type: none"> ①目的に合わせた散策ルート検討 ②散策ルート上での照明設備必要箇所の検討 ③レンタサイクル利用も含めた散策ルート検討
⑨	市街地整備	利用施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・バス路線縮小や人が集まるような施設(映画館・市場等)がなくなり、閑散としている。(2班) ・駐車スペースがない。(3班) ・公園や休憩施設・トイレが少ない。(4班) ・物産館等が少ない。食事処の場所が分かりづらい。(4班) ・高千穂神社やくしふる神社近辺のまちづくりと関連性を持たせ、周辺観光地へもアクセスできる遊歩道及び駐車場整備することが重要。(2班) ・天真名井にある既存の公園を整備しなおし、駐車スペースを確保できないか。 ・駐車場が少ないので増やしたい。(4班) 	<ul style="list-style-type: none"> ①関連施設周辺や市街地における駐車可能箇所の検討 ②食事や休憩ができる施設の検討
⑩		町道整備	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車が走れる道が少ない。(4班) ・街灯や舗装は高千穂らしいもので統一したい。(4班) ・町道の整備計画も本事業につながる整備計画にしてもらいたい。 	①街灯や舗装のデザインについて、高千穂らしい物での統一を検討
⑪	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・道が狭くて救急車が入れないような場所を減らしたい。(4班) ・下水・排水の匂いが気にならないような通りにしたい。(4班) 	<ul style="list-style-type: none"> ①現道拡幅 ②下水道整備計画

■第2回WSの検討結果

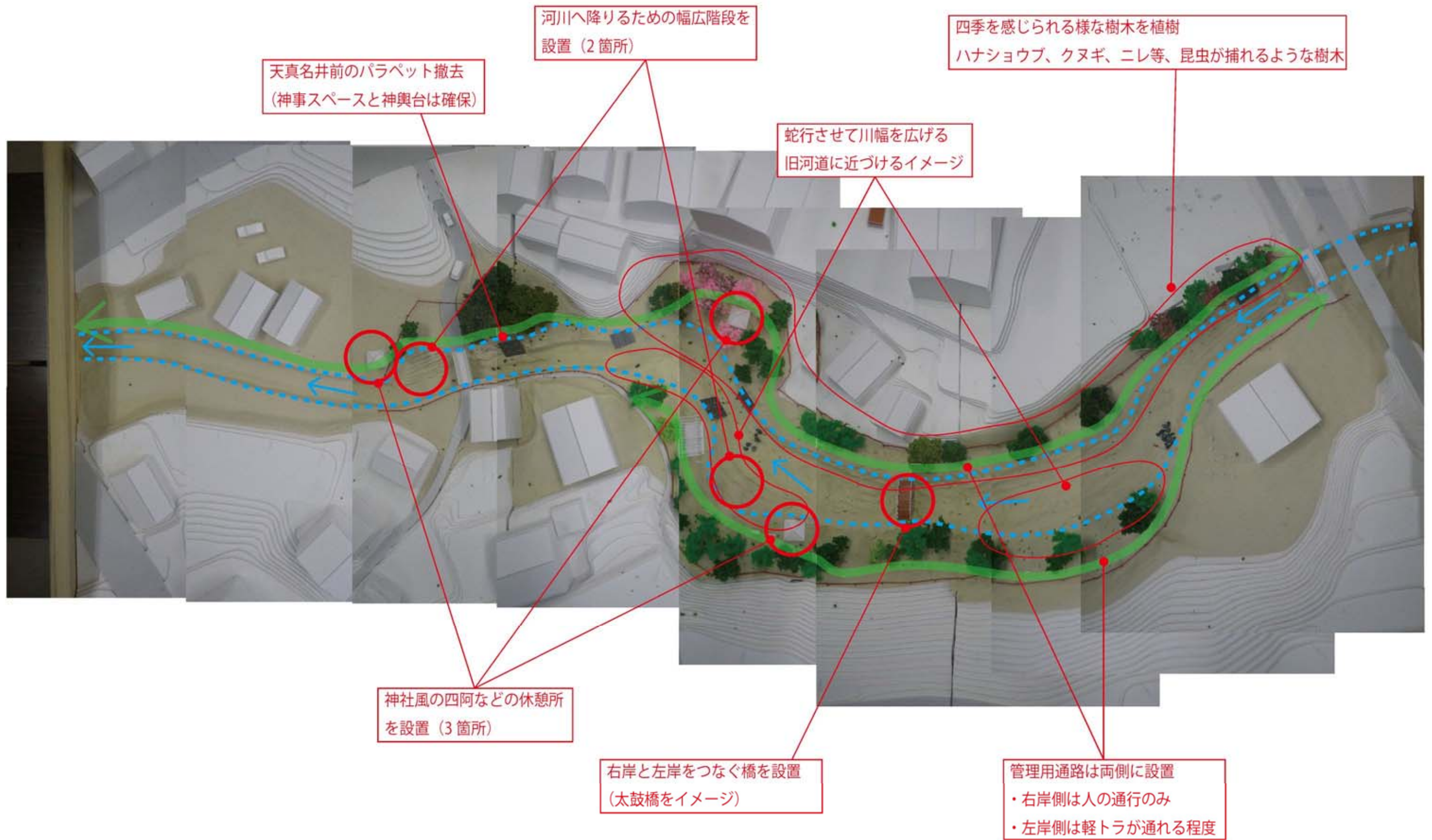
	ゾーンの位置づけ	天真名井周辺	皇子橋周辺	くしふる周辺	バスセンター周辺	その他
1班 天真名井周辺	かわまちづくり計画の中心として、水と歴史にふれられる空間	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井前 <ul style="list-style-type: none"> ・パラペットの撤去（神輿台は残す） ・河床を少し上げ（滞筋） ○上流側 <ul style="list-style-type: none"> ・川幅を広げて流速を落とし、河床で遊べる空間の確保 ・河床にアプローチしやすい階段、飛び石の設置 ・左岸と右岸を結ぶ橋の整備 ・休憩所・広場の確保 ○管理用通路 <ul style="list-style-type: none"> ・両岸に配置 	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井を中心して多方面からアクセスできるように誘導（案内板の整備等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○アマテラス鉄道とくしふる神社周辺を周遊するような関連付け ○天真名井を中心して多方面からアクセスできるように誘導（案内板の整備等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井を中心して多方面からアクセスできるように誘導（案内板の整備等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光客が興味深さを知って天真名井を訪れてくる ○神聖な水で、神聖な場所としての位置づけが重要 ○天真名井が成り立ちを知りたくなるような雰囲気、神秘的な場所としての演出 ○観光客だけでなく住民を含めた憩いの場の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり休憩しながら歩ける空間 ・地元も利用しやすい空間（維持管理もしやすい） ○天真名井と高千穂峡つながりは重要（天真名井の水は高千穂峡にな流れている）
2班 皇子橋周辺	まちなかと天真名井周辺をつなぎ、観光客と地元住民が共に楽しめる親水空間	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井との連携軸を整備（川沿いを中心とした導線） 	<ul style="list-style-type: none"> ○左岸側を中心に護岸を緩傾斜化 ○朝市ができる空間 ○観光客が立ち寄れる空間 ○夜でも安全に利用できる空間 ○近傍に不足している公園としての機能を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活利用も可能な連携軸として整備（地域住民も利用しやすい導線） 	<ul style="list-style-type: none"> ○まちなかとの連携軸として整備（観光客が入りやすい導線） 	<ul style="list-style-type: none"> ○皇子橋付近だけではなく天真名井との連携が必要不可欠 ○昔の賑わいを再生したい ○中心市街地では公園機能が不足
3班 くしふる周辺	天真名井を起源とした神々の歴史と自然を感じられる空間	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の利便性に配慮した周遊ルートの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・神代川右岸側遊歩道整備 ・左岸・右岸をつなぐ橋の整備、 ・荒立神社参道から市道を迂回しないルートの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○主要ポイントにおける誘導施設の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・くしふる神社 ・荒立神社 ・天真名井 ・国道220号一本木交差点 ○神々を巡るルートの特徴づけ（記紀に基づくルート設定等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○主要ポイントにおける誘導施設の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・くしふる神社 ・荒立神社 ・天真名井 ・国道220号一本木交差点 ○主要ポイントにおける駐車機能の強化（大型車の対応） <ul style="list-style-type: none"> ・くしふる神社前 ・荒立神社 ・荒立神社参道入口付近 ○天真名井からくしふる神社に至る遊歩道周辺の景観整備（擁壁の修景化等） ○荒立神社参道から地蔵菩薩を巡るルートの構築（ショートカットルート） ○神々を巡るルートの特徴づけ（記紀に基づくルート設定等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○バスセンターエリアとの連携軸整備（金毘羅宮へのアクセス道路） 	<ul style="list-style-type: none"> ○荒立神社の裏山整備（個人主導）との連携
4班 バスセンター周辺	観光客の移動拠点として、歴史施設などの情報を発信する空間	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井・くしふる周辺への遊歩道整備 <ul style="list-style-type: none"> ・天真名井やくしふる周辺との連携は、神代川の遊歩道でつなぐ動線がよい（金比羅側のルートは傾斜が急なため） ・川沿いを歩いて、後藤商店へ出るルートがよい ○自然の形を生かした遊歩道整備 <ul style="list-style-type: none"> ・舗装等、大規模な遊歩道整備は行わず、安全面に配慮した最小限の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○皇子橋周辺の管理用通路と一体化した遊歩道整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井・くしふる周辺への遊歩道整備 <ul style="list-style-type: none"> ・天真名井やくしふる周辺との連携は、神代川の遊歩道でつなぐ動線がよい（金比羅側のルートは傾斜が急なため） ・川沿いを歩いて、後藤商店へ出るルートがよい ○自然の形を生かした遊歩道整備 <ul style="list-style-type: none"> ・舗装等、大規模な遊歩道整備は行わず、安全面に配慮した最小限の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○高千穂町内観光の移動拠点整備 <ul style="list-style-type: none"> ・バスセンター裏を駐車場として、観光客の移動拠点としての整備 ・外国語に対応した、わかりやすいマップの作成（天孫降臨をイメージできるマップ） ○天真名井・くしふるエリアとの接続 <ul style="list-style-type: none"> ・神代川沿いの遊歩道でつなぐ動線がよい（金比羅側のルートは傾斜が急なため） ・川沿いを歩いて、後藤商店へ出るルートがよい 	<ul style="list-style-type: none"> ○町道整備について <ul style="list-style-type: none"> ・河川遊歩道の整備を最優先としてほしい。 ・町道は町民の利便性を考慮し、歩道幅幅による車線の減少や交通規制等は行わないでほしい。 ○駐車場について <ul style="list-style-type: none"> ・散策ルートや町内を歩いてもらうためには、駐車場は少ない方がよい。（3班との意見を合わせるためにも、一緒に検討を行わないたい。）

■第3回WSの検討結果

	ゾーンの位置づけ	天真名井周辺	皇子橋周辺	くしふる周辺	バスセンター周辺	その他
1班 天真名井周辺	かわまちづくり計画の中心として、水と歴史にふれられる空間	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井前 <ul style="list-style-type: none"> ・パラペットの撤去（神輿台と神事スペースは残す（宮司さんにも確認）） ・河床を少し上げ（滞筋） ○上流側 <ul style="list-style-type: none"> ・川幅を広げて河床で遊べる空間の確保 ・河床にアプローチしやすい階段、飛び石の設置 ・左岸と右岸を結ぶ橋の整備（太鼓橋をイメージ） ・休憩所・広場の確保 ○管理用通路 <ul style="list-style-type: none"> ・両岸に配置（左岸は軽トラ程度への対応） ○植樹 <ul style="list-style-type: none"> ・四季を感じられる花木の植樹 	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井を中心して多方面からアクセスできるように誘導（案内板の整備等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○アマテラス鉄道とくしふる神社周辺を周遊するような関連付け ○天真名井を中心して多方面からアクセスできるように誘導（案内板の整備等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井を中心して多方面からアクセスできるように誘導（案内板の整備等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光客が興味深さを知って天真名井を訪れてくる ○神聖な水で、神聖な場所としての位置づけが重要 ○天真名井が成り立ちを知りたくなるような雰囲気、神秘的な場所としての演出 ○観光客だけでなく住民を含めた憩いの場の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり休憩しながら歩ける空間 ・地元も利用しやすい空間（維持管理もしやすい） ○天真名井と高千穂峡つながりは重要（天真名井の水は高千穂峡にな流れている）
2班 皇子橋周辺	まちなかと天真名井周辺をつなぎ、観光客と地元住民が共に楽しめる親水空間	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井との連携軸を整備（川沿いを中心とした導線） 	<ul style="list-style-type: none"> ○左岸側を中心に護岸を緩傾斜化 ○皇子橋左岸付近に朝市ができる空間（広場整備）とトイレの整備 ○観光客が立ち寄れる空間 ○夜でも安全に利用できる空間 ○近傍に不足している公園としての機能を確保 ○駐車場は設置しない（まちなか利用） ○遊歩道沿いにベンチを配置 ○右岸側への桜などの植樹 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活利用も可能な連携軸として整備（地域住民も利用しやすい導線） 	<ul style="list-style-type: none"> ○まちなかとの連携軸として整備（観光客が入りやすい導線） 	<ul style="list-style-type: none"> ○皇子橋付近だけではなく天真名井との連携が必要不可欠 ○昔の賑わいを再生したい ○中心市街地では公園機能が不足
3班 くしふる周辺	天真名井を起源とした神々の歴史と自然を感じられる空間	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の利便性に配慮した周遊ルートの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・神代川右岸側遊歩道整備 ・左岸・右岸をつなぐ橋の整備、 ・荒立神社参道から市道を迂回しないルートの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○主要ポイントにおける誘導施設の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・くしふる神社 ・荒立神社 ・天真名井 ・国道220号一本木交差点 ○神々を巡るルートの特徴づけ（記紀に基づくルート設定等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○主要施設を回るのみの短時間コース設定 <ul style="list-style-type: none"> ・高千穂碑や四皇子峰を通らないコース ・上記に伴う駐車場整備（荒立神社） ○天真名井からくしふる神社に至る遊歩道周辺の景観整備（擁壁の修景等）→石垣 ○神々を巡るコースの特徴づけ（記紀に基づくコース設定等） ○コース別に応じた案内板の設置 ○遊歩道整備は最小限とし、自然に近い形を残す（危険な箇所や歩きにくい箇所のみを整備） 	<ul style="list-style-type: none"> ○バスセンターエリアとの連携軸整備（金毘羅宮へのアクセス道路） 	<ul style="list-style-type: none"> ○荒立神社の裏山整備（個人主導）との連携 ○駐車場はまちなかを歩いてもらえるように配置（距離の長い遊歩道等については高齢者に配慮して最小限の整備）
4班 バスセンター周辺	観光客の移動拠点として、歴史施設などの情報を発信する空間	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井・くしふる周辺への遊歩道整備 <ul style="list-style-type: none"> ・天真名井やくしふる周辺との連携は、神代川の遊歩道でつなぐ動線がよい（金比羅側のルートは傾斜が急なため） ・川沿いを歩いて、後藤商店へ出るルートがよい ○自然の形を生かした遊歩道整備 <ul style="list-style-type: none"> ・舗装等、大規模な遊歩道整備は行わず、安全面に配慮した最小限の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○皇子橋周辺の管理用通路と一体化した遊歩道整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井・くしふる周辺への遊歩道整備 <ul style="list-style-type: none"> ・天真名井やくしふる周辺との連携は、神代川の遊歩道でつなぐ動線がよい（金比羅側のルートは傾斜が急なため） ・川沿いを歩いて、後藤商店へ出るルートがよい ○自然の形を生かした遊歩道整備 <ul style="list-style-type: none"> ・舗装等、大規模な遊歩道整備は行わず、安全面に配慮した最小限の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○高千穂町内観光の移動拠点整備 <ul style="list-style-type: none"> ・町立病院跡地を駐車場として、観光客の移動拠点としての整備 ○天真名井・くしふるエリアとの接続 <ul style="list-style-type: none"> ・神代川沿いの遊歩道でつなぐ動線がよい（金比羅側のルートは傾斜が急なため） ・川沿いを歩いて、後藤商店へ出るルートがよい ○金比羅宮（地蔵山）への展望所設置 ○遊歩道整備は最小限とし、自然に近い形を残す（危険な箇所や歩きにくい箇所のみを整備） 	<ul style="list-style-type: none"> ○マップの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・外国語に対応した、コースがわかりやすいマップの作成（天孫降臨をイメージできるマップ） ○町道整備について <ul style="list-style-type: none"> ・歩道と車道の段差をなくし、幅員を2.0m程度確保する ○駐車場はまちなかを歩いてもらえるように配置（距離の長い遊歩道等については高齢者に配慮して最小限の整備）

■第3回WSの検討結果（1班：天真名井周辺）

1班. 天真名井周辺		
【ゾーンの位置づけ】かわまちづくり計画の中心として、水と歴史にふれられる空間		
検討項目	第2回 WS	第3回 WS
①ルート選定 ・河川の流れや川幅をどうするか	①ルート選定 ・旧河川の流れに戻し、川幅を広げて流速を落とす → 模型で表現	①ルート選定 ・河川の流れや川幅をどうするか → 川の蛇行に合わせて、 全体的に左岸側を広げるイメージ → 宮尾野橋付近の川幅はそのまま （計画起点） → 水量が少ないときを考慮して、川底に滞筋を 考えておく
②施設配置 ・川へ降りる場所をどこにするか ・管理用通路をどちらに配置するか ・休憩所の配置をどこにするか	②施設配置 ・現在の夜泣き石付近の左岸に、広い階段と飛び石を設置 → 模型で表現 ・両側に配置し、橋でつなげる → 模型で表現	②施設配置 ・川へ降りる場所をどこにするか → 天真名井下流右岸と現在の夜泣き石付近の左岸に、幅広の階段を設置 ・管理用通路をどちらに配置するか → 管理用通路と散策路を兼用して両側に配置する ・休憩所の配置をどこにするか → 休憩所は蛇行部の 広い箇所 の両岸（2箇所）と児童公園（1箇所）の計3箇所
③施設デザイン・イメージ ・護岸、河床について ・管理用通路の幅員や舗装について ・休憩所の施設やデザインについて ・真名井前広場の計画、規模について	③施設デザイン・イメージ ・神輿台は残し、パラペットは撤去する → 具体的な広さはどの程度か	③施設デザイン・イメージ ・護岸、河床について → 護岸は自然石の石積みに近い形にし、河床は石を貼っていくイメージ ・管理用通路の幅員や舗装について → 管理用通路幅員について、右岸は歩行者のみ、左岸は軽トラが走行できる程度にしたい → 管理用通路（散策路）の舗装は、 石畳等の自然な形をイメージ ・休憩所の施設やデザインについて → 四阿の屋根については、神社風をイメージ、途中に人道橋を設置 ・真名井前広場の計画、規模について → 神事スペースの規模については宮司と要相談 （ただし場所の変更は難しいので、現位置とする。）
④その他 ・	④その他 ・	・ 高千穂鉄道から見える範囲の景観がよくなるようにしたい ・植栽については、 紅葉など四季折々が感じられる空間にしたい 。ハナショウブ、クヌギ、ニレ、など 昆虫が捕れる木を植えたい ・水神様の案内を入れる（7箇所） ・天真名井前の橋梁下を歩けるようにしたい ・個別の施設詳細については、 治水や安全面、維持管理を考慮し専門的な観点から検討を行ってほしい



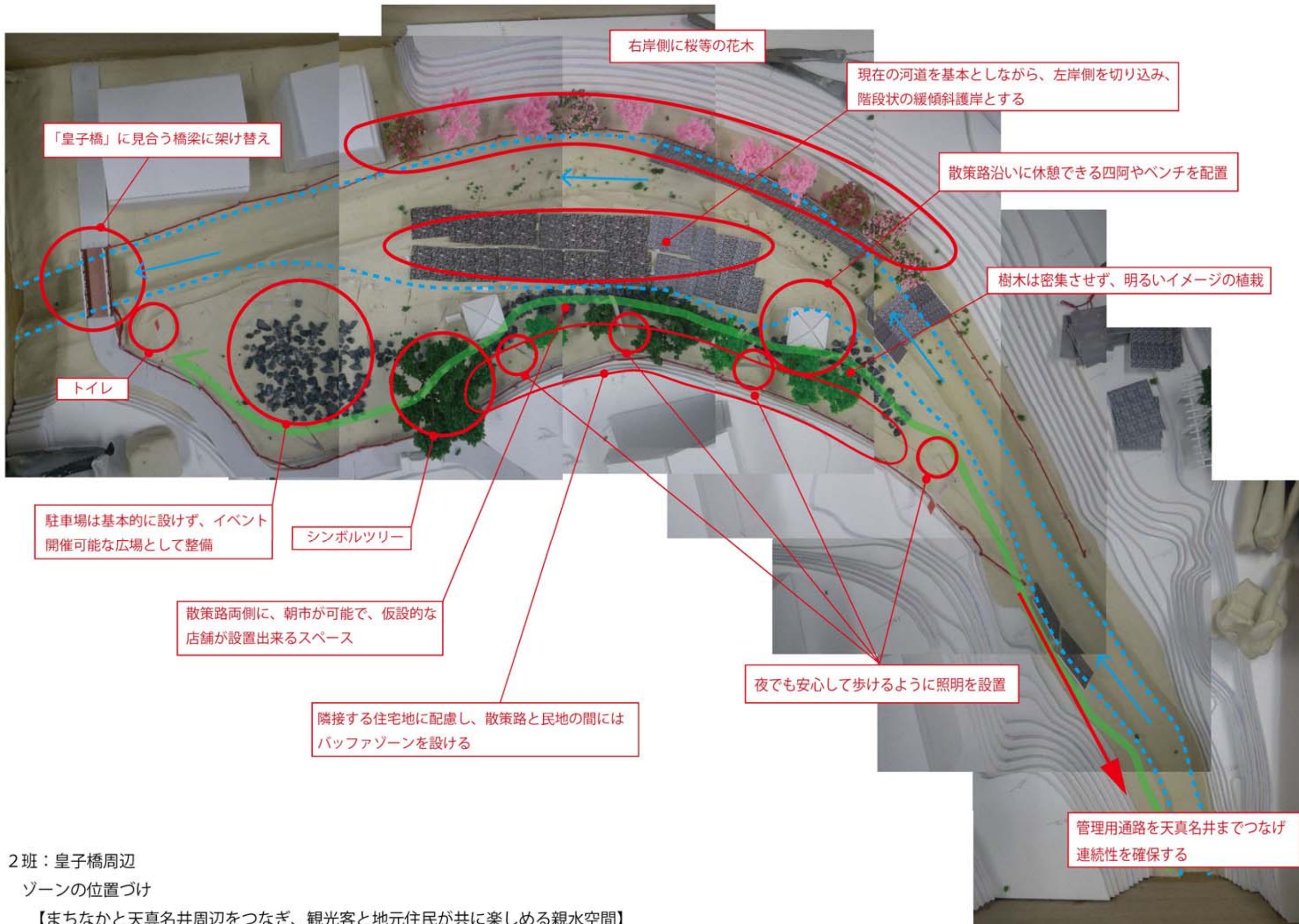
1班：天真名井周辺

ゾーンの位置づけ

【かわまちづくり計画の中心として、水と歴史にふれられる空間】

■第3回WSの検討結果（2班：皇子橋周辺）

2班. 皇子橋周辺		
【ゾーンの位置づけ】 まちなかと天真名井周辺をつなぎ、観光客と地元住民が共に楽しめる親水空間		
検討項目	第2回 WS	第3回 WS
①ルート選定 ・河川の流れや川幅をどうするか	①ルート選定 ・河道は現状を基本として大きく変えない → 模型で表現	①ルート選定 ・河川の流れや川幅をどうするか → 河道は現状を基本として大きく変えない
②施設配置 ・川へ降りる場所をどこにするか ・管理用通路をどちらに配置するか ・休憩所や広場の配置をどこにするか	②施設配置 ・左岸を中心に緩傾斜化する → 模型で表現 ・管理用通路は左岸の境界沿い中心に設置 → 模型で表現 ・皇子橋付近の左岸に駐車場を設置 → 模型で表現 ・左岸全体を広場として公園化 → 模型で表現	②施設配置 ・川へ降りる場所をどこにするか → 左岸側を切り込み、階段状の緩傾斜とする （伊勢神宮の御手洗場をイメージ） ・管理用通路をどちらに配置するか → 左岸の民地境界沿いに設置 （ただし、隣接する住宅地に配慮しバッファゾーンを設けること） → 将来的には天真名井までつなげ、連続性を確保する ・休憩所や広場の配置をどこにするか → 四阿を2箇所 に設置し、散策路沿いなどに ベンチを多く配置したい （ゆっくりできる場所） → 皇子橋近くにトイレを設置したい （町の中にないので） → 皇子橋左岸側にイベント （音楽祭・朝市等）が開催できる 広場を整備 （駐車場は設けない）
③施設デザイン・イメージ ・護岸、河床について ・管理用通路の幅員や舗装について ・休憩所や広場のデザインについて	③施設デザイン・イメージ ・夜でも安全に利用できる空間（照明設置） → より具体的な整備イメージを検討 ・朝市ができる空間 → 仮設 or 常設等	③施設デザイン・イメージ ・護岸、河床について → 伊勢神宮の御手洗場の様な、 自然石を積んだ様なイメージ で河床は 石貼り ・管理用通路の幅員や舗装について → 夜でも散策が出来るように 照明を設置 → 散策路両側に、朝市が可能で仮設的な店舗が設置できるようなスペースを設けたい ・休憩所や広場のデザインについて → 四阿やベンチは、シンプルなデザインで落ち着いた色にする → 広場は芝生ではなく、管理面を考慮し草の生えないような舗装としてほしい
④その他 ・	④その他 ・	・ 皇子橋を、名前に負けないようなデザインで架け替える ・植樹については、右岸側に桜並木を植え、左岸の広場近くにはシンボルツリーを植えたい ・個別の施設詳細については、 治水や安全面、維持管理を考慮し専門的な観点から検討を行ってほしい



2班：皇子橋周辺

ゾーンの位置づけ

【まちなかと天真名井周辺をつなぎ、観光客と地元住民が共に楽しめる親水空間】

■第3回WSの検討結果（3班：くしふる周辺・4班：バスセンター周辺）

3班・4班. くしふる神社周辺・バスセンター周辺		
【ゾーンの位置づけ】（くしふる神社周辺） 天真名井を起源とした神々の歴史と自然を感じられる空間		
【ゾーンの位置づけ】（バスセンター周辺） 観光客の移動拠点として、歴史施設などの情報を発信する空間		
検討項目	第2回 WS	第3回 WS
①ルート選定 ・周遊ルートをどうするか	①ルート選定 ・【くしふる】荒立神社参道から地藏菩薩を巡るルートの構築（ショートカットルート） →具体的なルートを図示 ・【くしふる】神々を巡るルートの特徴付け（記紀に基づくルート設定等） →具体的なルートを図示 ・【バスセンター】神代川の管理用通路をメインにした、くしふる周辺との連携 →具体的なルートを図示	①ルート選定 ・周遊ルートをどうするか → 町立病院跡に大型の駐車場を設け、皇子橋と天真名井の川沿いを歩いて、帰りは町道を通って駐車場に戻るルート（ロングコースとしては荒立神社や天真名井を経由） → 荒立神社の駐車場を中心としてくしふる周辺や天真名井を周回するルート（ショートコースとしては高天原を経由しないルート） → この他ルートは固定せず、時間や難易度を考慮したルートも設定する
②施設配置 ・駐車場をどこに配置するか ・休憩所やベンチをどこに配置するか ・案内板をどこに配置するか	②施設配置 ・【くしふる】各ポイントにおける駐車機能を強化し、大型車への対応も（くしふる神社前、荒立神社前、荒立神社参道入口） ・【バスセンター】散策ルートや町内を歩いてもらうため、駐車場の箇所は少ない方がよい（バスセンター裏） →駐車場に関しては、3・4班で意見が異なるため調整 ・【くしふる】くしふる神社、荒立神社、天真名井といった主要施設への誘導を →具体的なルートや施設の位置等を図示	②施設配置 ・駐車場をどこに配置するか → 町立病院跡地と荒立神社の2箇所 ・休憩所やベンチをどこに配置するか → 金比羅宮（地藏山）に展望台となる四阿を設置する → 高千穂碑を日が当たるようにし、ベンチ等の休憩所を設置する ・案内板をどこに配置するか → 町立病院からまちなか案内所、皇子橋へ案内する案内板を設置する → 遊歩道にはコースに応じた行き先がわかる案内板を設置する
③施設デザイン・イメージ ・休憩所の施設やデザインについて ・遊歩道の幅員や舗装について ・町道の幅員や舗装について	③施設デザイン・イメージ ・【バスセンター】大規模な遊歩道整備は行わず、安全面に配慮した最小限の整備としたい（自然の形を生かした遊歩道整備） →より具体的な整備イメージを検討 ・【バスセンター】町道は地元住民の利便性を最優先とし、最小限の整備としてほしい（歩道拡幅による車線の減少や、交通規制等を行わない） →より具体的な整備イメージを検討	③施設デザイン・イメージ ・休憩所の施設やデザインについて → 金比羅宮の展望台や四阿は、神社風のデザインをイメージ ・遊歩道の幅員や舗装について → 自然のままの形とし、手すりの設置は危険な箇所のみ最小限とする → 舗装についてもウッドチップの様な自然に近い整備とする ・町道の幅員や舗装について → 現在、歩道と車道の段差を無くしてほしい → 最低でも2.0m程度の幅員を確保したい。
④その他 ・	④その他 ・	

■天真名井の護岸イメージ



HP トップページデザイン案

◆神代川かわまちづくりに関するホームページの基本構成



内部リンク or 外部リンク

◆神代川かわまちづくり HP

1. 神代川かわまちづくり計画とは (トップページ)
2. 神代川かわまちづくり計画 (計画書 PDF、策定経緯)
3. 神代川かわまちづくり推進協議会について
 - ① 設置要綱
 - ② 協議会委員名簿
 - ③ 推進協議会の開催状況 (議事録、資料)
 - ④ ワーキンググループの開催状況 (議事録、資料)
 - ⑤ 事業の進捗状況

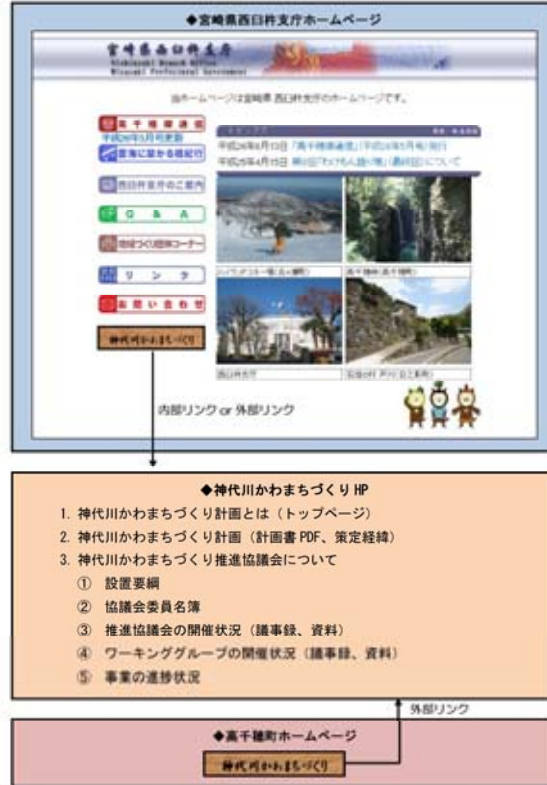
外部リンク

◆高千穂町ホームページ

神代川かわまちづくり



◆神代川かわまちづくりに関するホームページの基本構成



- ◆神代川かわまちづくり HP
1. 神代川かわまちづくり計画とは (トップページ)
 2. 神代川かわまちづくり計画 (計画書 PDF、策定経緯)
 3. 神代川かわまちづくり推進協議会について
 - ① 設置要綱
 - ② 協議会委員名簿
 - ③ 推進協議会の開催状況 (議事録、資料)
 - ④ ワーキンググループの開催状況 (議事録、資料)
 - ⑤ 事業の進捗状況

◆高千穂町ホームページ
神代川かわまちづくり



※HP 本体データの格納先 (サーバ) を確認
 ・西臼杵支庁直下
 ・高千穂町役場直下
 ・独立立ち上げ

OF2. 神代川かわまちづくり計画」サブページ

◆神代川かわまちづくり計画の方向性

- 「神代川かわまちづくり計画」は、神代川及びその周辺におけるかわまちづくりの目標、整備方針、整備内容などの基本的な方向性をとりまとめたものです。
- この計画を基に、官公庁と高千穂町との緊密な連携のもと、地域の人々が高千穂地域の環境と景観の再生を軸に、川とともにいけることの喜びを体験し、またこの地域を誇れる人びとに日本文化の原風景の体験を共有できるように、かわとまちを一体とした様々な取り組みを行います。

◆計画書
神代川かわまちづくり計画書(PDF:OOKB)

◆概要版
神代川かわまちづくり計画概要書(PDF:OOKB)

◆神代川かわまちづくり計画策定の経緯
神代川河川再生検討委員会、地元ワークショップ

OF「神代川河川再生検討委員会、地元ワークショップ」サブページ

- 神代川かわまちづくり計画は「神代川河川再生検討委員会」により策定しています。
- また、かわまちづくり計画の策定にあたっては、神代川沿りに住む地域住民(本郷、町区)の意見を河川再生計画に反映させることを目的に地元ワークショップを開催しています。

検討会名	実施日	概要
第1回神代川河川再生検討委員会	平成23年11月22日	河川再生計画の検討概要 - これまでの再生に向けた行動 - 神代川周辺の歴史・景観資源の確認 - 現地視察 - 今後の進め方について
第1回神代川ワークショップ「神代川に愛する高千穂らしさと探検」	平成24年12月3日	神代川河川再生検討委員会状況 - 神代川周辺の歴史について - 掘に分かれての討議 - 意見発表
第2回神代川河川再生検討委員会	平成24年3月9日	第1回ワークショップ開催報告 - 小学校アンケート実施報告 - 重点課題抽出と再生目標(案)の検討 - 河川再生メニュー(案)の検討 - 今後の進め方について
第1回神代川河川再生検討委員会	平成24年12月13-14日	第2回委員会課題の対応 - ワークショップ結果の報告 - 高千穂の歴史と神代川との関わりについて講話 - 高千穂のまちづくりの報告 - まち、みちづくりの進め方の講話 - 今後の進め方について確認
第2回神代川ワークショップ「天眞名鼻周辺の復元」	平成25年3月3日	神代川河川再生検討委員会状況 - 天眞名鼻の湧水再生 - グループ討議 - 意見交換会
第4回神代川ワークショップ「天眞名鼻周辺観光施設の創設検討」	平成25年6月15日	河川再生計画の検討中間報告 - 荒立神社宮司による施設建設説明 - 周辺施設の現地調査 - 意見発表
第2回神代川河川再生検討委員会	平成25年7月11日	第2回委員会及び計画検討委員会の課題対応 - ワークショップ結果の報告 - 意見交換 - かわまちづくり計画について
第3回神代川河川再生検討委員会	平成25年7月12日	
第4回神代川河川再生検討委員会	平成25年12月20日	かわまちづくり計画について - これまでの課題対応状況 - かわまちづくり計画について
第3回神代川河川再生検討委員会	平成25年12月19日	これまでの課題対応状況

*委員会、ワークショップの各回をクリックすれば、議事詳細(PDF)が開くようになります

OF3. 神代川かわまちづくり推進協議会」サブページ

川づくり・まちづくりの具体化にあたっては、「神代川かわまちづくり計画」に基づき、河川管理者である官公庁とまちづくりの主体である高千穂町や地域関係者をはじめとする、各主体が相互に連携して、整備内容や手法及び管理運営方法も含めた実現化方針を検討し、それぞれの役割分担と協働のもとに推進していくものとします。

「神代川かわまちづくり計画」の推進に向け、行政・地域・専門家・NPOなど、「かわまちづくり」にまつる各主体が協働・調整し、また施策の評価と必要に応じて計画の見直しを行っていく場として「神代川かわまちづくり推進協議会」を設置します。

◆設置要綱
神代川かわまちづくり推進協議会設置要綱(PDF:OOKB)

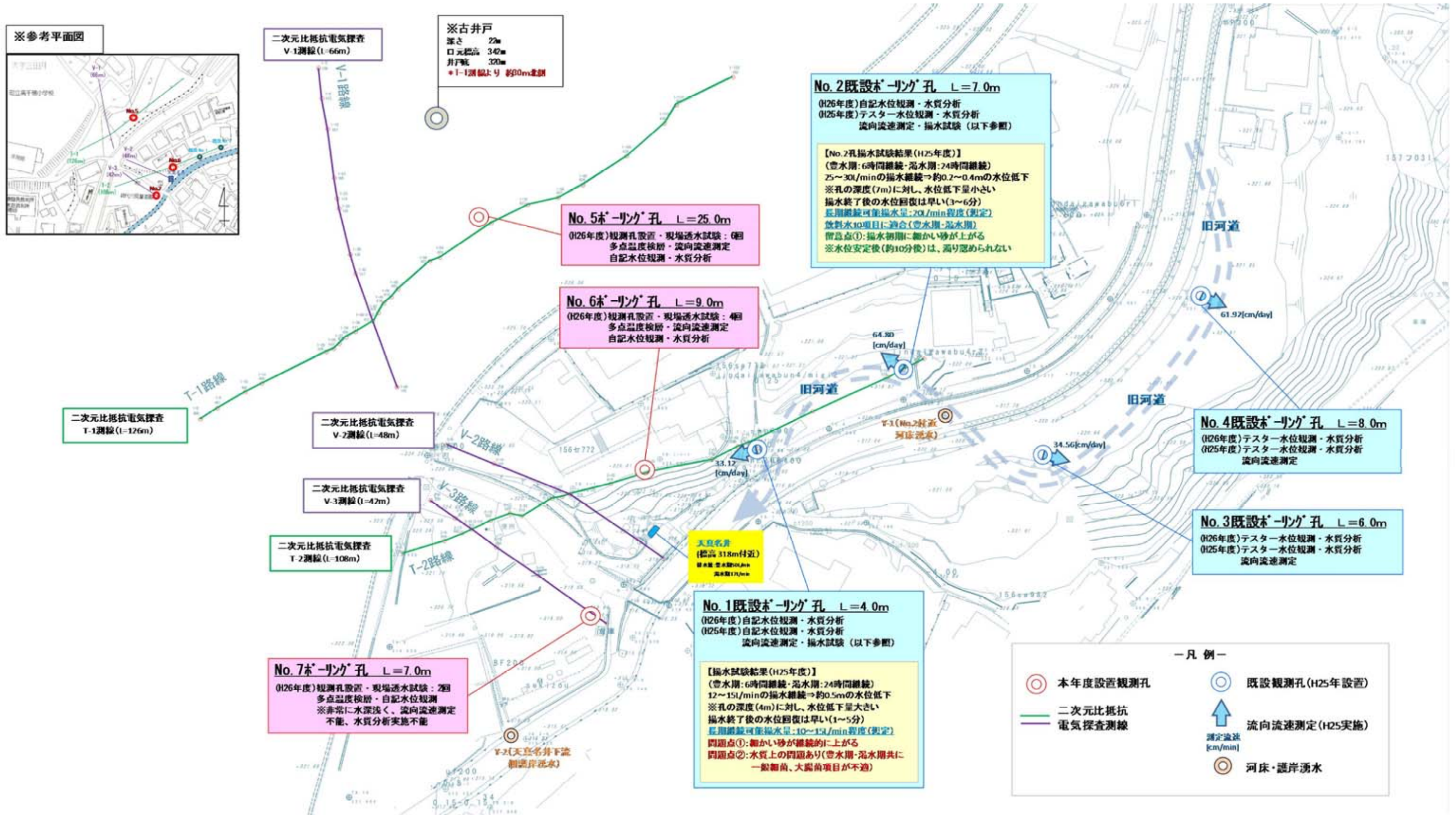
◆協議会委員名簿
神代川かわまちづくり推進協議会委員名簿(PDF:OOKB)
神代川かわまちづくり推進協議会ワークショップ委員名簿(PDF:OOKB)

◆神代川河川再生検討委員会の開催状況
第1回推進協議会(平成26年11月4日)開催
...

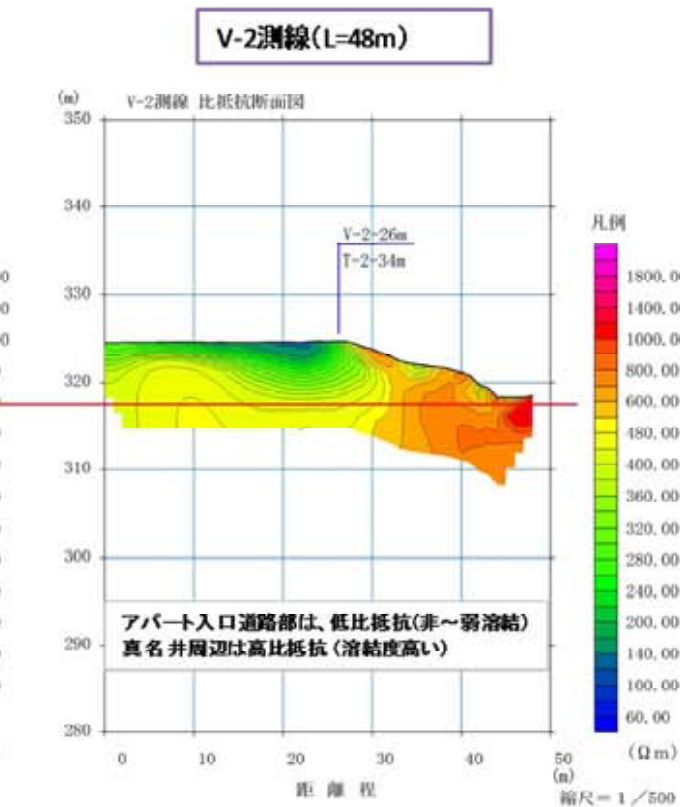
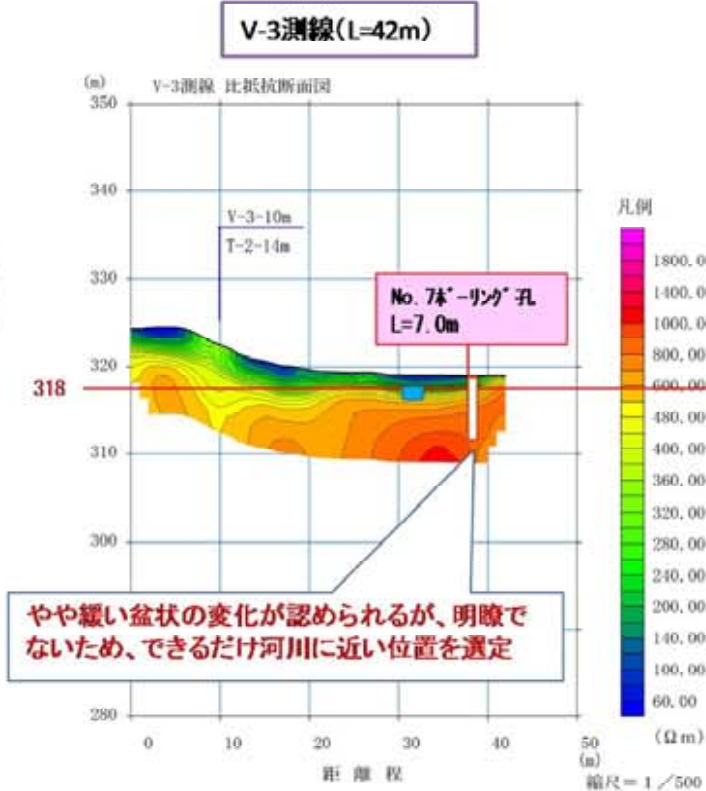
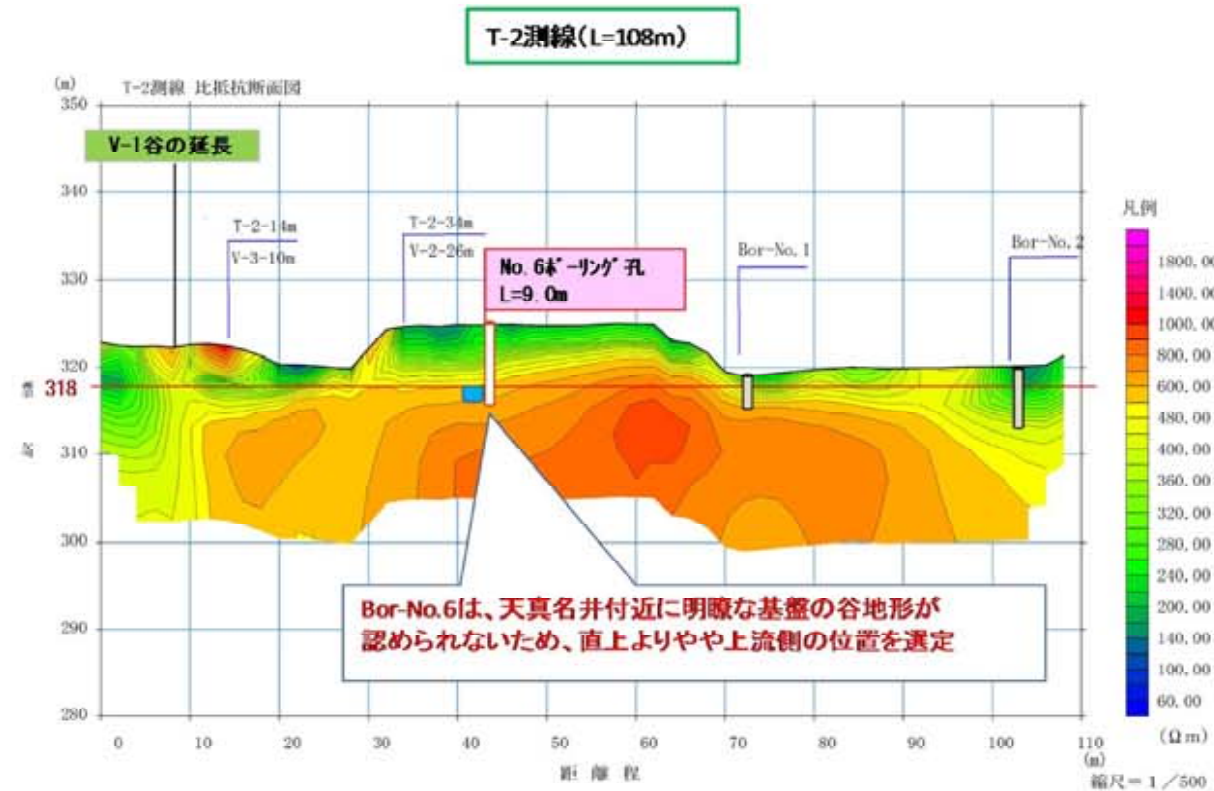
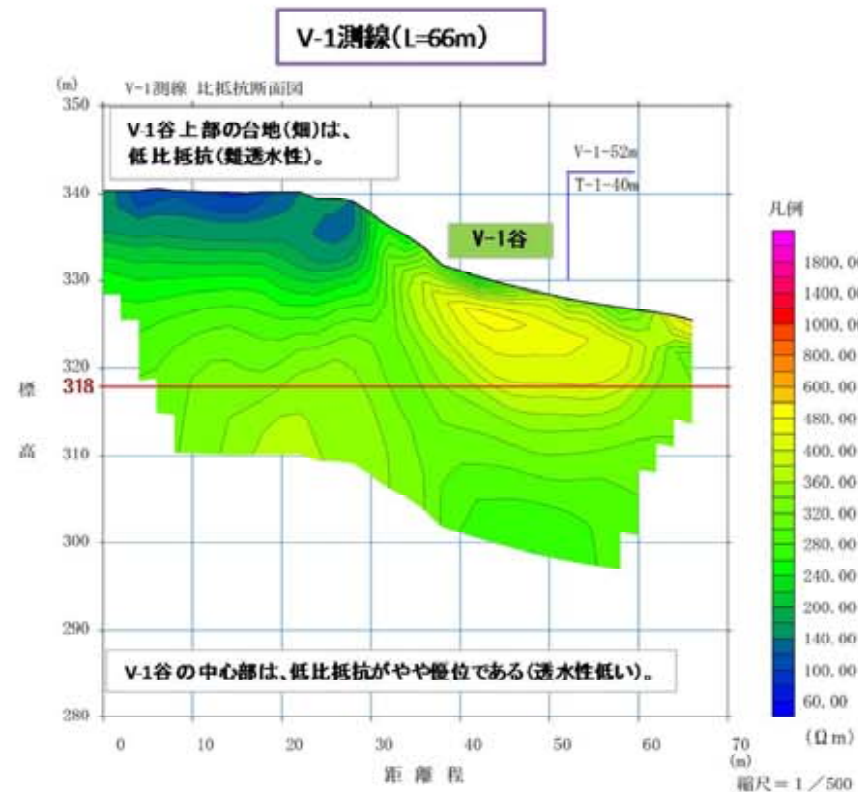
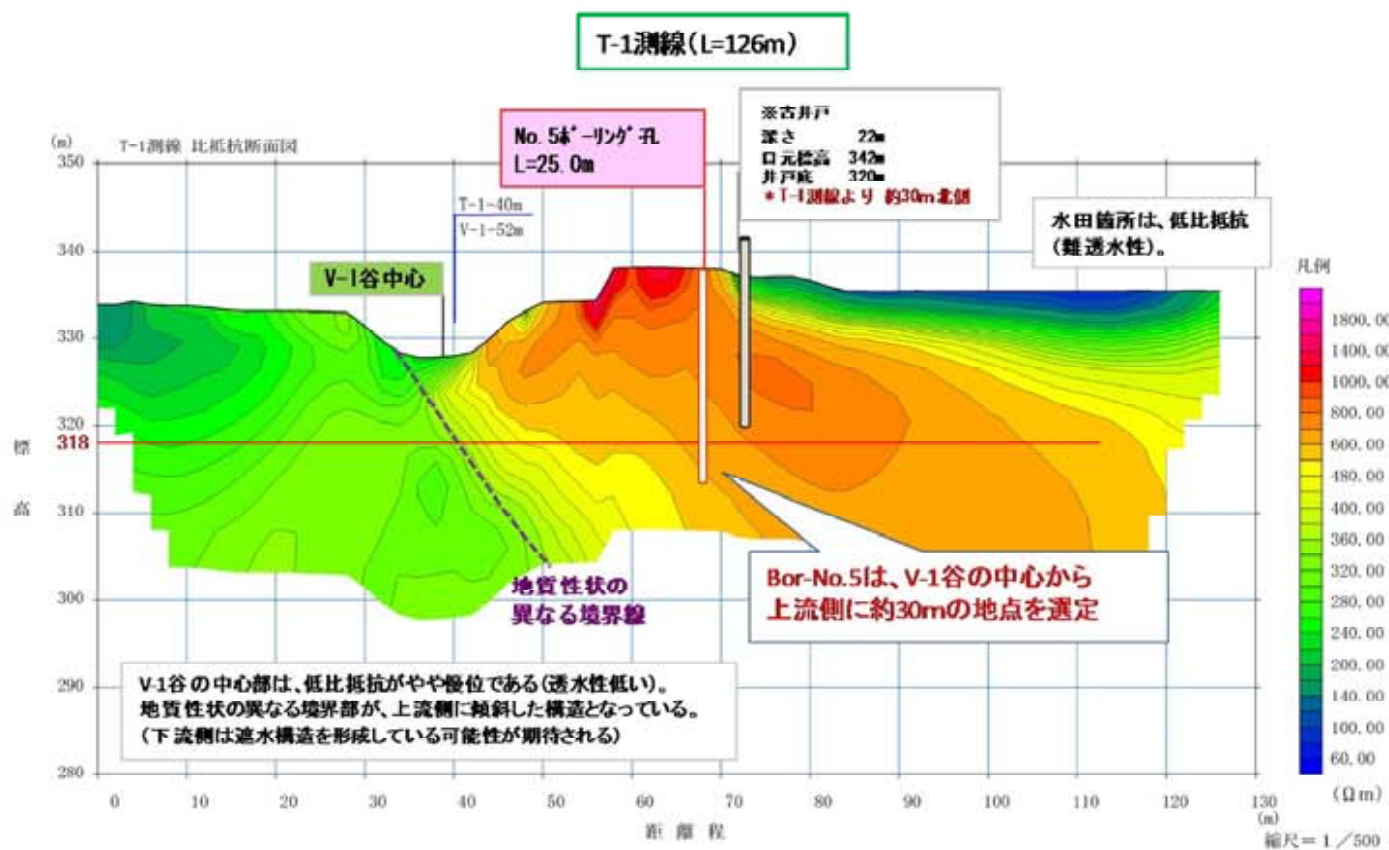
◆推進協議会・ワークショップ
【神代川かわまちづくり八百万神(やおよろずのかみ)の会】の開催状況
第1回推進協議会(平成26年5月8日)設立
第2回推進協議会【第1回ワークショップ】(平成26年7月24日)開催
第3回推進協議会【第2回ワークショップ】(平成26年9月26日)開催
第4回推進協議会【第3回ワークショップ】(平成26年10月9日)開催
...

◆事業の進捗状況
かわまちづくり、まちづくりの具体事業の進捗状況を随時掲載(年度別掲載)

4：天真名井（地下水・水質等調査）について



第1図 調査位置図



第2図 二次元比抵抗電気探査結果および解釈図

現時点での地下水調査結果概要

【ボーリング調査の結果】 * ホーリングは別業務で実施
 ・地層構成と透水性の概要は下図に示す通り。
 ・ボーリング3孔で、溶結凝灰岩の溶結度に差があることや弱溶結部の厚さに差があることが確認された。
 ・全体に概ね 10^{-5} (cm/sec)程度の透水性を有する
 No.5孔は弱溶結中間部でやや透水性大。No.6孔は表層および弱-中溶結の境界部でやや低い透水性を示すが、砂礫区間前後は透水性大。No.7孔は岩盤割れ目に沿う逸水が顕著。

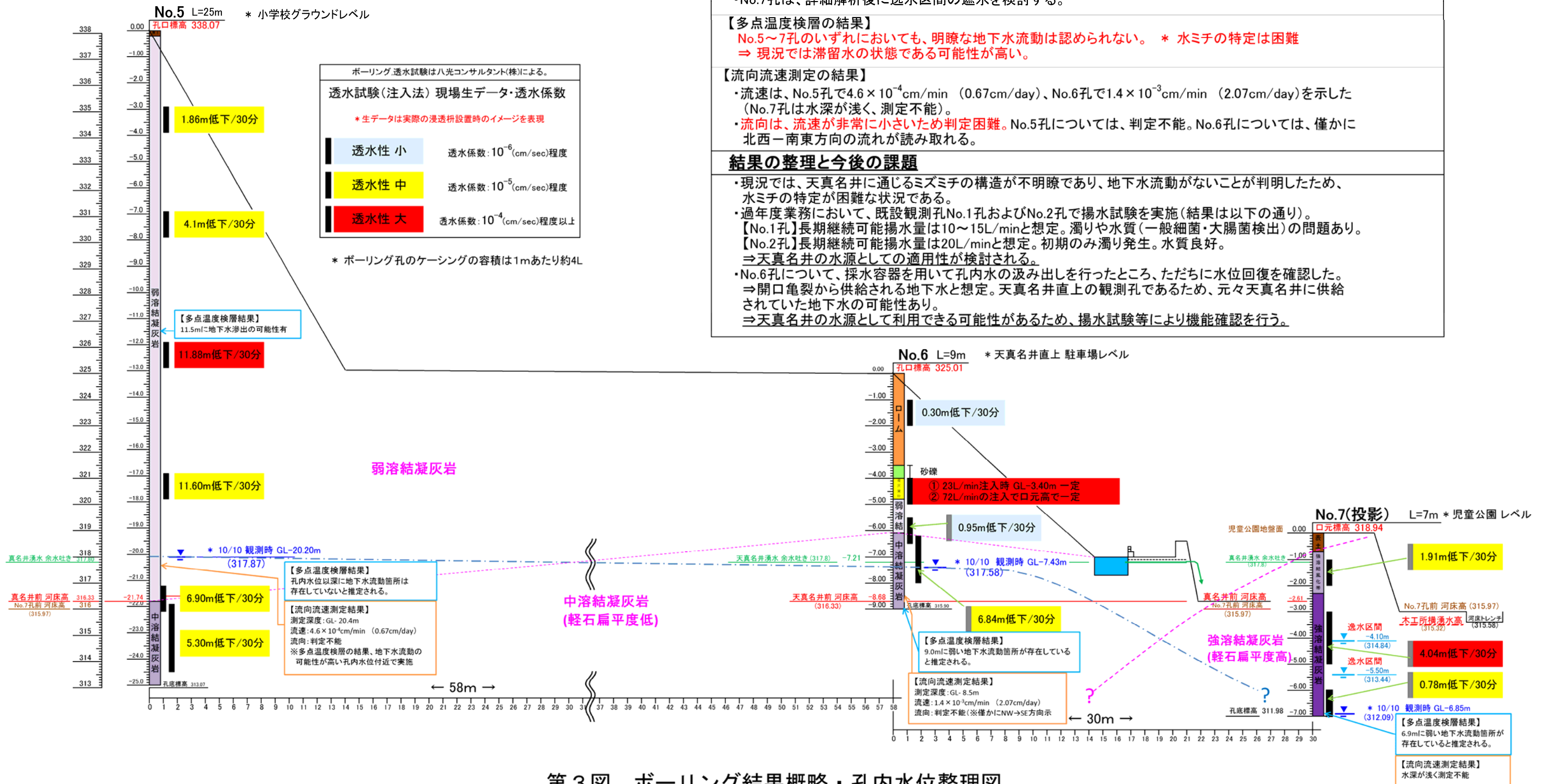
【水位観測の結果】 ボーリング完了(10/3) → 10/11の観測結果
 ・No.5孔とNo.6孔の水位差は、0.29m
 2孔間の距離が58mであるため、**動水勾配は0.5%** 極めて緩い(地形勾配は22.3%)
 ・溶結凝灰岩の表層には水位があるが、逸水区間より下には水位はない。No.7では孔底付近まで水位低下。
 (天真名井周辺も河床掘削時に同様の現象が発生した可能性が示唆される)
 ・No.7孔は、詳細解析後に逸水区間の遮水を検討する。

【多点温度検層の結果】
 No.5~7孔のいずれにおいても、明瞭な地下水流動は認められない。 * 水ミチの特定は困難
 ⇒ 現況では滞留水の状態である可能性が高い。

【流向流速測定の結果】
 ・流速は、No.5孔で 4.6×10^{-4} cm/min (0.67cm/day)、No.6孔で 1.4×10^{-3} cm/min (2.07cm/day)を示した
 (No.7孔は水深が浅く、測定不能)。
 ・**流向は、流速が非常に小さいため判定困難。**No.5孔については、判定不能。No.6孔については、僅かに北西-南東方向の流れが読み取れる。

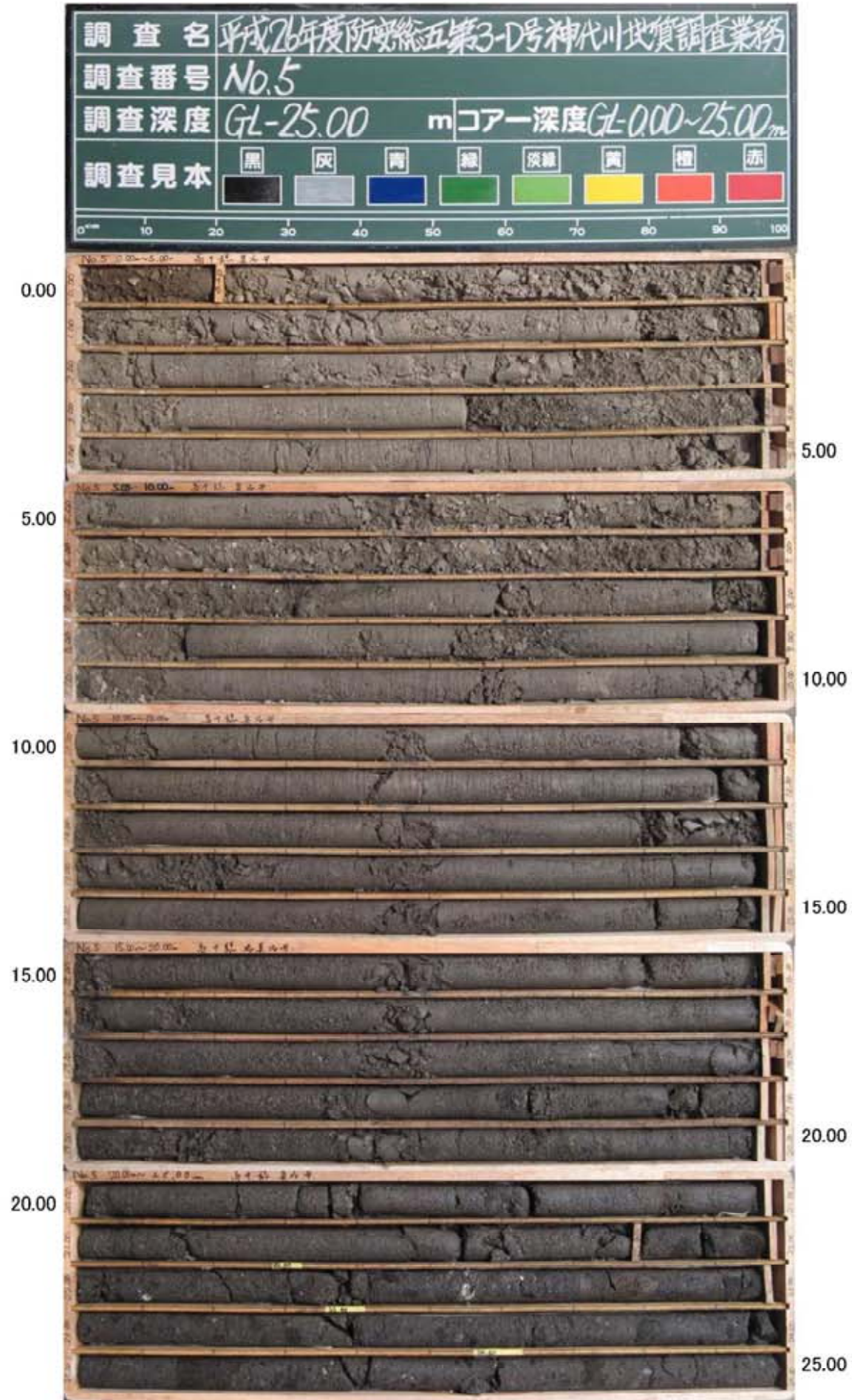
結果の整理と今後の課題

・現況では、天真名井に通じるミズミチの構造が不明瞭であり、地下水流動がないことが判明したため、水ミチの特定が困難な状況である。
 ・過年度業務において、既設観測孔No.1孔およびNo.2孔で揚水試験を実施(結果は以下の通り)。
 【No.1孔】長期継続可能揚水量は10~15L/minと想定。濁りや水質(一般細菌・大腸菌検出)の問題あり。
 【No.2孔】長期継続可能揚水量は20L/minと想定。初期のみ濁り発生。水質良好。
 ⇒天真名井の水源としての適用性が検討される。
 ・No.6孔について、採水容器を用いて孔内水の汲み出しを行ったところ、ただちに水位回復を確認した。
 ⇒開口亀裂から供給される地下水と想定。天真名井直上の観測孔であるため、元々天真名井に供給されていた地下水の可能性あり。
 ⇒天真名井の水源として利用できる可能性があるため、揚水試験等により機能確認を行う。



第3図 ボーリング結果概略・孔内水位整理図

コア写真No.5



コア写真No.6



コア写真No.7



